

**令和5年度
坂井市教育委員会の事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書**

坂井市教育委員会

— 目 次 —

I	はじめに	1
II	点検・評価について	2
III	令和5年度坂井市教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の会議開催等の状況	3
2	教育長・教育委員会委員の活動状況	6
2-1	指導主事学校訪問	9
2-2	全国大会等出場激励会	10
3	委員会、審議会等の審議状況	12
4	教育委員会関係の許認可の状況	14
IV	教育委員会関係事業の取組実績	
	令和5年度事業別施策の成果報告書	
	○ 教育総務課	16
	○ 学校教育課（給食センター）	19
	○ 生涯学習スポーツ課	31
	○ 文化課（丸岡城国宝化推進室、龍翔博物館）	41
	○ 市立図書館	50
V	有識者からの意見	53

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「令和5年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和5年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

Ⅱ 点検・評価について

1 対象期間

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）

2 点検・評価方法

(1) 点検・評価報告書の作成

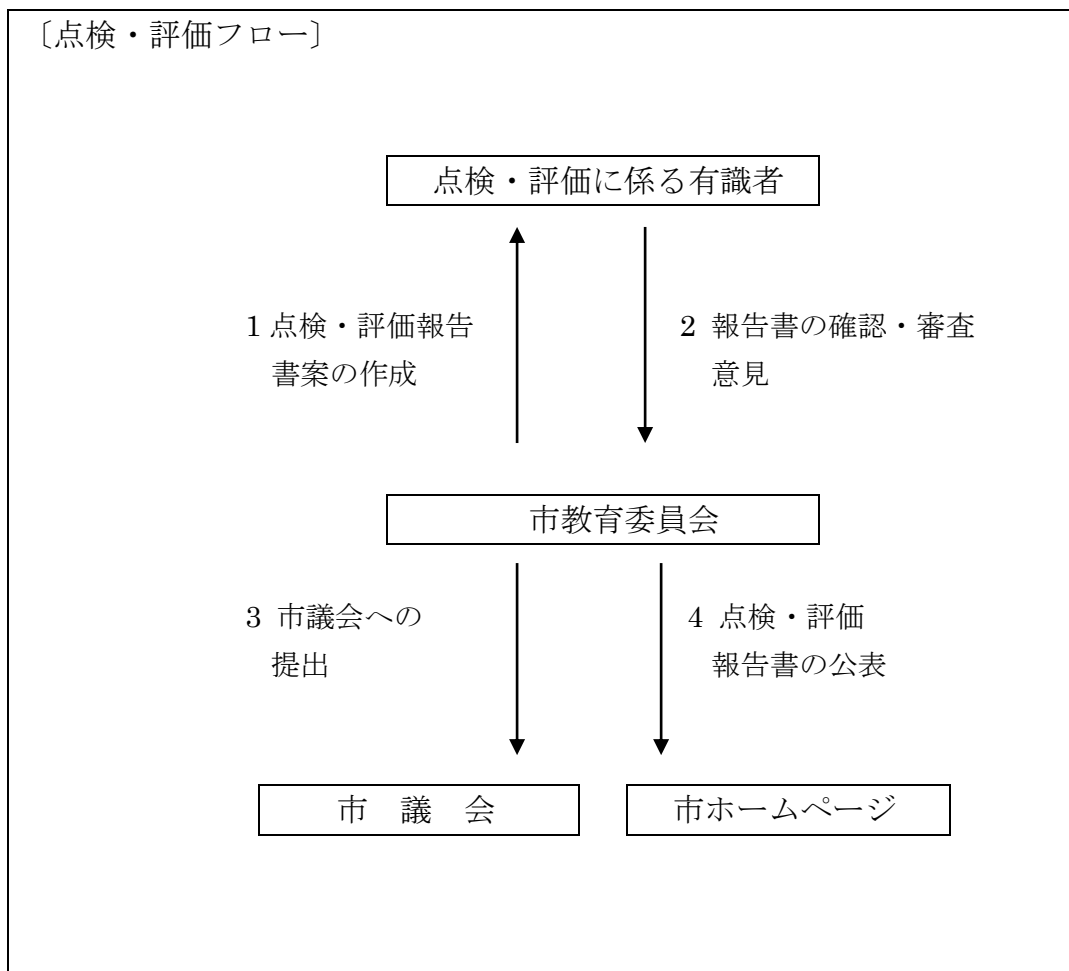
教育委員会において点検・評価報告書案を作成

(2) 点検・評価報告書の確認、審査

有識者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

(3) 点検・評価結果の公表

点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表



Ⅲ 令和5年度 坂井市教育委員会の活動状況

1 教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会 教育長、委員

(令和4年6月1日現在)

	氏名	職業
教育長	林 晃司	
委員（教育長職務代理者）	牧田 靖夫	会社役員
委員	田中 典夫	公益財団理事
委員	宮崎 美恵子	医療法人理事
委員	橋本 明子	

(令和5年5月11日現在)

	氏名	職業
教育長	林 晃司	
委員（教育長職務代理者）	田中 典夫	公益財団理事
委員	宮崎 美恵子	医療法人理事
委員	橋本 明子	
委員	牧田 靖夫	会社役員

(2) 教育委員会の開催状況

- ・ 開催回数 14回
- ・ 附議事項 39件

(3) 教育委員会審議案件

- 4月定例教育委員会〔令和5年4月18日（火）〕
 - 議案第1号 坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について
 - 議案第2号 令和5年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置および採択地区協議会の協議結果に基づき採択することに関する 議決について
 - 議案第3号 就学指定校の変更許可について
- 5月臨時教育委員会〔令和5年5月11日（木）〕
 - 議案第4号 坂井市教育委員会教育長職務代理者の指名について
 - 議案第5号 坂井市教育委員会委員の席次の決定について

- 5月定例教育委員会〔令和5年5月23日（火）〕
議案第 6号 坂井市社会教育委員の承認について
議案第 7号 坂井市文化財保存活用地域計画推進協議会委員の承認について
議案第 8号 就学指定校の変更許可について
- 5月臨時教育委員会〔令和5年5月30日（火）〕
報告のみ
- 6月定例教育委員会〔令和5年6月26日（金）〕
議案第 9号 坂井市指定文化財の指定解除について
議案第10号 就学指定校の変更許可について
- 7月定例教育委員会〔令和5年7月19日（水）〕
議案第11号 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について
議案第12号 就学指定校の変更許可について
- 8月定例教育委員会〔令和5年8月23日（水）〕
議案第13号 令和5年度教科用図書採択坂井地区協議会結果の承認について
議案第14号 坂井市龍翔博物館運営委員会設置要綱の制定について
議案第15号 就学指定校の変更許可について
- 9月定例教育委員会〔令和5年9月26日（火）〕
議案第16号 就学指定校の変更許可について
- 10月定例教育委員会〔令和5年10月24日（火）〕
議案第17号 就学指定校の変更許可について
- 11月定例教育委員会〔令和5年11月20日（月）〕
議案第18号 坂井市文化財保護審議会に諮問することについて
議案第19号 就学指定校の変更許可について
- 12月定例教育委員会〔令和5年12月19日（火）〕
議案第20号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
議案第21号 就学指定校の変更許可について
- 1月定例教育委員会〔令和6年1月22日（月）〕
議案第22号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
（追加）

- 2月定例教育委員会〔令和6年2月20日（火）〕
 - 議案第23号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加）
 - 議案第24号 坂井市指定文化財の指定について
 - 議案第25号 就学指定校の変更許可について

- 3月定例教育委員会〔令和6年3月19日（火）〕
 - 議案第26号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加）
 - 議案第27号 坂井市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について
 - 議案第28号 坂井市教育委員会の権限に属する事務委任及び補助執行に関する規則の一部改正について
 - 議案第29号 坂井市教育委員会表彰規則の一部改正について
 - 議案第30号 坂井市給食費徴収規則の特例に関する規則の一部改正について
 - 議案第31号 坂井市丸岡スポーツランド条例施行規則の一部改正について
 - 議案第32号 坂井市奨学育英資金貸付要綱の一部改正について
 - 議案第33号 坂井市教育委員会教育総務課所管補助金等交付要綱の一部改正について
 - 議案第34号 坂井市教育委員会学校教育課所管補助金等交付要綱の一部改正について
 - 議案第35号 第20回まるおか子供歌舞伎事業費補助金等交付要綱の制定について
 - 議案第36号 丸岡城山整備基本計画策定委員会設置要綱の制定について
 - 議案第37号 坂井市文化財保護審議会委員の承認について
 - 議案第38号 坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館運営審議会委員の承認について
 - 議案第39号 就学指定校の変更許可について

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

	月 日	委 員 名	活 動 内 容
1	令和5年4月3日	林	教育委員会辞令交付式
2		林、牧田、田中、宮崎、橋本	新採用・管理職・転任校長辞令交付式、教職員着任式
3		田中	坂井市文化協会丸岡支部総会
4	4月4日	林	坂井地区第1回学校運営研究大会
5	4月5日	林	第1回教育振興研究会代表者会
6	4月10日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	各中学校入学式
7		林	第1回坂井地区教育長会
8	4月11日	林	第1回福井県市町教育長会議（オンライン）
9		林	坂井地区教育振興研究会総会
10	4月20日～21日	林	東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会
11	4月22日	林	坂井市文化協会通常総会
12	4月23日	林、田中、宮崎、橋本	第30回一筆啓上顕彰式
13	5月3日	林	第35回古城カップ開会式
14	5月8日	林	福井県都市教育長協議会総会
15	5月12日	林、牧田、宮崎、橋本	第1回坂井地区合同教育委員会
16	5月12日～14日	林、宮崎	ジャパンオープンディスクゴルフ2023 フレンドシップ大会
17	5月15日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	ジャパンオープンディスクゴルフ2023 歓迎レセプション
18	5月15日～19日	林、田中、宮崎、橋本	ジャパンオープンディスクゴルフ2023 プロ大会
19	5月20日	林、田中	小学校運動会（平章、長畝、高椋）
20	5月25日	林	青少年育成坂井市民会議総会
21	5月26日	田中、宮崎、橋本	福井県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会・情報交換会
22	5月27日	林、田中、橋本	小学校運動会（明章、大関、兵庫、木部小）
23	5月28日	林	第35回鳴鹿地区体育祭
24	5月29日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	採択坂井地区協議会
25	5月31日	林	第2回福井県市町教育長会議（オンライン）
26		林	ふくい桜マラソン実行委員会第3回総会
27	6月4日	林	アジア女子フットサルクラブカップ
28	6月14日	林	坂井市小学校音楽会
29	6月17日	林	第16回誠杯U-10坂井市少年サッカー大会
30	6月18日	林	県民スポーツ祭バウンドテニス
31	6月20日	林	第3回福井県市町教育長会議（オンライン）
32	6月24日	林	いけばな池坊展
33	6月27日	林	「小さな親切」運動坂井支部総会
34	7月1日	林	全国重文民家の集い令和5年度総会
35	7月6日～7日	林	全国史跡整備市長協議会（長野県松本市）
36	7月8日	林、牧田	海からのおくりもの2023
37	7月11日	林	第1回市民文化祭実行委員会
38	7月14日	林	第4回福井県市町教育長会議（オンライン）
39	7月19日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	総合教育会議
40	7月22日	林	かまぼこ板の絵展覧会表彰式（愛媛県西予市）
41	7月29日	林	三国町地区対抗小学生スポーツ大会（野球）
42	8月1日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	採択坂井地区協議会
43	8月2日	林	第5回福井県市町教育長会議
44		田中	坂井市教育研究会全体研修会
45	8月3日	林	全国公立小中学校事務研究大会（福井大会）
46	8月5日	林	三国町地区対抗小学生スポーツ大会（女子親善バレーボール）
47	8月6日	林	日本女子フットサルリーグ第7部
48	8月7日	林	福井県小学校教育課程研究集会
49	8月17日	林	第2回坂井地区教育振興研究会代表者会
50	8月19日	林	くちなし忌

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

	月 日	委 員 名	活 動 内 容
51	8月20日	林	北信越フットボールリーグ2部 坂井フェニックス戦
52	8月30日	林	第6回福井県市町教育長会議
53	9月3日	林	福井県スポーツ少年団創立60周年記念スポーツ少年大会開会式
54	9月5日	林、宮崎、橋本	中学校体育祭（三国、春江、坂井）
55	9月6日	林	中学校文化祭（丸岡）
56	9月7日	林	中学校体育祭（丸岡）
57		林、牧田、宮崎	子ども会壁新聞コンクール審査
58	9月8日	林、田中	中学校体育祭（丸岡南）
59		林	中学校文化祭（三国、春江）
60	9月9日	林	中学校文化祭（丸岡南）
61	9月10日	林、田中	ドリームベースボール
62	9月12日	林	坂井地区中学校駅伝競走大会
63	9月14日	林	中学校文化祭（坂井）
64	9月16日～19日	林	日本スポーツマスターズ2023福井大会サッカー大会
65	9月19日	林	第2回坂井地区教育長会
66	9月23日	林、牧田、田中	第16回こどもが描く”ふるさと坂井” 絵画展表彰式
67	10月1日	林	春江町スポーツ大会
68	10月9日	林	第18回坂井市民スポーツ祭（スポーツフェスタ）
69	10月13日	林	第2回市民文化祭実行委員会
70	10月14日	林、田中	平章小学校創立150周年記念式典
71	10月15日	林	第18回坂井市社会福祉大会
72	10月18日～19日	林	福井県市町教育委員会連絡協議会教育長研修会
73	10月18日	林、田中	小学校運動会（鳴鹿）
74	10月21日	林	第79回日本PTA東海北陸ブロック研究大会
75	10月22日	林、橋本	大関小学校創立150周年記念式典
76	10月24日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	指導主事学校訪問（金津中学校）
77		林、牧田、田中、宮崎、橋本	文化庁巡回公演（歌舞伎・能楽）
78	10月27日	林、橋本	東十郷小学校創立150周年記念式典（児童のみ）
79	10月28日	林、牧田、田中、宮崎	第18回坂井市民文化祭総合開会式
80	11月3日	林	高椋小学校創立150周年記念式典
81	11月4日	林	春江坂井ライオンズクラブディスクゴルフ大会
82	11月5日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	第16回坂井市古城マラソン大会
83	11月8日	宮崎、橋本	こどもアートデビュー体験（音楽鑑賞会）
84	11月11日	林、宮崎	三国南小学校創立150周年記念式典
85		林、牧田、田中	春江小学校創立150周年記念式典
86	11月12日	林、橋本	兵庫小学校創立150周年記念式典
87	11月14日	林、牧田	小松長生監修スクールコンサート
88	11月15日	宮崎	小松長生監修スクールコンサート
89	11月16日	田中、橋本	小松長生監修スクールコンサート
90	11月17日	林	健全育成「一筆啓上」標語コンクール表彰式
91	11月18日	林	教育の未来について語る会
92	11月19日	林	お城EXPO in 滋賀
93	11月22日	林	第7回福井県市町教育長会議
94		林	福井県視聴覚教育研究大会
95	11月23日	林	丸岡町体操祭
96	11月24日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	第2回坂井地区合同教育委員会
97	11月25日	林、田中、宮崎	第18回公演まるおか子供歌舞伎
98	11月30日	林、宮崎、橋本	みくに大好き交流会
99	12月3日	林	さかい国際フェスティバル
100	12月9日	林、田中、宮崎	令和5年度坂井市ふるさとづくり記念講演会

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

	月 日	委 員 名	活 動 内 容
101	12月23日	林	クリスマスファミリーコンサート
102	令和6年1月4日	林	第3回教育振興研究会代表者会
103	1月19日	林	第3回市民文化祭実行委員会
104	1月21日	林	第18回坂井市小学生親善かるた大会
105	1月24日	林、橋本	一筆啓上入賞者選考会
106	1月25日	林、田中、宮崎、橋本	一筆啓上賞 入賞者発表会
107	2月3日	林	子ども会壁新聞コンクール表彰式
108		林	福井ふるさと教育フェスタ
109	2月6日	林	第3回坂井地区教育長会
110	2月7日	林	学校運営研究大会
111	2月8日	林	市町村教育委員会研究協議会
112	2月9日	教育審議監代理出席	第8回福井県市町教育長会議
113	3月7日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	市内中学校卒業証書授与式
114	3月9日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	坂井市教育委員会表彰式
115	3月10日	林	小中学生俳句コンクール表彰式
116	3月12日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	市内小学校卒業証書授与式
117	3月17日	林、牧田、田中、宮崎	はたちのつどい
118	3月18日	林	第5回小中高丸岡城サミット
119	3月20日	林、牧田、宮崎、橋本	市政功労者表彰式
120	3月23日	林	丸岡藩誕生400年記念 文化講演会
121	3月29日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	教職員離任式
122	3月31日	林、牧田、田中、宮崎、橋本	ふくい桜マラソン

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。

※指導主事訪問および全国大会出場激励会は、別途一覧表（次頁以降参照）があるため本表からは除いてあります。

2-1 指導主事学校訪問

	時 期	出席委員名	活 動 内 容
1	前期	5月16日	林、橋本 指導主事学校訪問（春江中1回目）
2		5月17日	林、田中、宮崎 指導主事学校訪問（坂井中1回目）
3		5月18日	林、宮崎、橋本 指導主事学校訪問（三国中1回目）
4		5月25日	林、田中、橋本 指導主事学校訪問（丸岡中1回目）
5		5月26日	林、田中、宮崎 指導主事学校訪問（丸岡南中1回目）
6		6月1日	林、牧田、宮崎 指導主事学校訪問（春江小1回目）
7		6月6日	林、牧田、宮崎 指導主事学校訪問（鳴鹿小）
8		6月8日	林、牧田、宮崎、橋本 指導主事学校訪問（加戸小）
9		6月15日	林、牧田、橋本 指導主事学校訪問（木部小）
10		6月20日	林、田中、橋本 指導主事学校訪問（平章小）
11		6月21日	林、田中、宮崎 指導主事学校訪問（磯部小1回目）
12		6月22日	林、牧田、宮崎 指導主事学校訪問（春江西小）
13		6月23日	林、牧田、田中 指導主事学校訪問（三国北小）
14		6月27日	林、田中、橋本 指導主事学校訪問（高椋小1回目）
15		6月28日	林、牧田、宮崎 指導主事学校訪問（三国西小）
16		6月29日	林、田中、橋本 指導主事学校訪問（東十郷小）
17		7月6日	林、牧田、橋本 指導主事学校訪問（兵庫小）
18	後期	10月5日	林、宮崎、橋本 指導主事学校訪問（坂井中2回目）
19		10月6日	林、田中、橋本 指導主事学校訪問（長畝小）
20		10月11日	林、牧田、田中 指導主事学校訪問（春江東小）
21		10月20日	林、田中、宮崎 指導主事学校訪問（三国中2回目）
22		10月25日	林、宮崎、橋本 指導主事学校訪問（三国南小）
23		10月26日	林、田中、橋本 指導主事学校訪問（春江小2回目）
24		10月27日	林、田中、宮崎 指導主事学校訪問（春江中2回目）
25		11月1日	林、牧田、宮崎 指導主事学校訪問（丸岡中2回目）
26		11月2日	林、牧田、橋本 指導主事学校訪問（大石小）
27		11月8日	林、牧田、宮崎 指導主事学校訪問（明章小）
28		11月10日	林、牧田、橋本 指導主事学校訪問（磯部小2回目）
29		11月14日	林、田中、宮崎 指導主事学校訪問（雄島小）
30		11月15日	林、宮崎、橋本 指導主事学校訪問（丸岡南中2回目）
31		11月16日	林、田中、宮崎 指導主事学校訪問（高椋小2回目）
32		12月1日	林、橋本 指導主事学校訪問（大関小）

2-2 全国大会等出場激励会

	開催日	内 容	所管課
1	令和5年4月24日	国際大会出場激励会(2023全国生活体育大祝典兼日韓生活体育交流サッカー大会)	生涯学習スポーツ課
2	4月28日	全国大会出場激励会(第43回全国少年柔道大会)	生涯学習スポーツ課
3	7月10日	全国大会出場激励会 (全国高等学校総合文化祭・囲碁選手権大会・NHK杯放送コンテスト)	文化課
4	7月12日	全国大会出場激励会(第44回全日本クラブ女子ソフトボール選手権大会)	生涯学習スポーツ課
5	7月19日	全国大会出場激励会(第9回全国中学生フェンシング選手権大会、JA共済トーナメント日本リトルシニア第14回林和男旗杯野球大会、第57回全国道場少年剣道大会、全農杯2023年全日本卓球選手権大会、ロート製菓杯第41回全国ホープス卓球大会、第39回若葉カップ全国小学生バドミントン選手権大会、第40回全日本小学生ソフトテニス選手権大会)	生涯学習スポーツ課
6	7月24日	全国大会出場激励会(令和5年全国高等学校定時制通信制体育大会)	生涯学習スポーツ課
7	7月31日	全国大会出場激励会(第23回全日本少年少女空手道選手権大会、とびうお杯第38回全国少年少女水泳競技大会)	生涯学習スポーツ課
8	8月3日	国際大会出場激励会(2023世界少年野球大会)	生涯学習スポーツ課
9	8月7日	全国大会出場激励会(第14回湘南藤沢カップ中学生ビーチバレー大会、第3回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会、第21回全日本女子軟式野球学生選手権大会、第8回全日本女子軟式野球大会、第46回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会、第39回全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会)	生涯学習スポーツ課
10	8月8日	全国大会出場激励会(全国中学校体育大会)	学校教育課
11	8月28日	全国大会出場激励会(第42回全日本クラブ卓球選手権大会、日清食品カップ第39回全国小学生陸上競技交流大会)	生涯学習スポーツ課
12	8月31日	国際大会優勝報告会(2023世界少年野球大会)	生涯学習スポーツ課
13	9月6日	全国大会出場激励会(特別国民体育大会会期前)	生涯学習スポーツ課
14	9月20日	甲子園出場報告会(第105回全国高等学校野球選手権記念大会)	生涯学習スポーツ課
15	9月22日	全国大会出場激励会(第26回全国ヤングクラブバレーボール大会)	生涯学習スポーツ課
16	10月2日	全国大会出場激励会(特別国民体育大会)	生涯学習スポーツ課
17	10月4日	全国大会出場激励会(リレーフェスティバル、JOCジュニアオリンピックカップ第54回U16陸上競技大会)	生涯学習スポーツ課
18	10月11日	アジア大会出場激励会(杭州2022アジアパラ競技大会)	生涯学習スポーツ課
19	10月24日	全国大会出場激励会(全国高等ロボット競技大会)	文化課
20	11月9日	丸岡高校サッカー部表敬訪問(高校サッカー選手権大会)	生涯学習スポーツ課
21	11月9日	全国大会出場激励会(第12回全日本スポーツウエルネス吹矢選手権大会)	生涯学習スポーツ課
22	11月20日	全国大会出場激励会(全国小学生バドミントン選手権大会、全国都道府県対抗バレーボール大会)	生涯学習スポーツ課
23	11月27日	アジア大会入賞報告会(杭州2022アジアパラ競技大会)	生涯学習スポーツ課
24	12月6日	全国大会出場激励会(第32回全国小学生バドミントン選手権大会、第51回バトントワーリング全国大会)	生涯学習スポーツ課
25	12月15日	全国大会出場激励会(JOCジュニアオリンピックカップ第37回全国都道府県対抗中学バレーボール大会)	生涯学習スポーツ課
26	12月19日	全国大会出場激励会(全国高校サッカー選手権大会)	生涯学習スポーツ課
27	12月26日	全国大会出場激励会(Jr. ウインターカップ2023-24 2023年度第4回全国U15バスケットボール選手権大会)	生涯学習スポーツ課

2-2 全国大会等出場激励会

	開催日	内 容	所管課
28	令和6年1月15日	丸岡高校サッカー部報告会（高校サッカー選手権大会）	生涯学習スポーツ課
29	1月24日	アジア大会出場報告会（カヌーポロアジア選手権）	生涯学習スポーツ課
30	1月29日	全国大会準優勝報告会（第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会）	生涯学習スポーツ課
31	2月1日	全国大会出場激励会（第20回全日本女子フットサル選手権）	生涯学習スポーツ課
32	3月6日	全国大会出場激励会（全国高等学校囲碁選抜大会）	文化課
33	3月19日	全国大会出場激励会（全国高等学校レスリング競技大会、全国ホープス選抜卓球大会、全国小学生ゴルフ春季大会、全国小学生ソフトテニス大会、マクドナルド全国ミニバスケットボール大会、回全日本UJフレッシュボクシング大会、都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会、都道府県対抗全日本中学生男子ソフトボール大会、全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会、全国中学校選抜卓球大会、都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会）	生涯学習スポーツ課
34	3月21日	全国大会出場激励会（小倉百人一首競技かるた全国小・中学生選手権大会）	文化課

※教育長が出席

26 12月19日、全国大会出場激励会（全国高校サッカー選手権大会）は、教育長、田中委員、宮崎委員、橋本委員、牧田委員が出席

3 委員会、審議会等の審議状況

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
坂井市教育支援委員会	38(28)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会 園児児童生徒の就学先個別判断・決定について ・教育支援委員専門委員会 園児児童生徒の就学相談について 	協議	R5.4.21 R5.7.5 R5.8.9 R5.8.23 R5.11.9 R6.1.10
坂井市社会教育委員の会	15(5)	3	第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・令和5年度社会教育関係事業の概要について ・令和5年度社会教育委員の会議運営について 第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度社会教育事業等報告 ・東海北陸社会教育研究集会について(運営・分科会内容) ・坂井市生涯学習講演会について 第3回 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度社会教育事業等報告 ・令和6年度社会教育事業計画 	協議	R5.6.1 R5.9.22 R6.3.21
坂井市スポーツ推進委員会	37(10)	9	<ul style="list-style-type: none"> ・副部長の選出 ・会計の選出 ・今後の検討事項 ・CATV撮影 ・懇親会の開催 ・しあわせの花体操について ・ディスクドッジ審判講習会 ・ウォークラリー大会の開催について ・委員研修 	協議	R5.4.19 R5.6.7 R5.6.29 R5.7.12 R5.8.26 R5.9.17 R5.10.11 R5.10.13 R6.3.7
坂井市青少年愛護センター 運営委員会	20(5)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・愛護センターの事業報告 ・愛護センターの事業計画 ・青少年の動向 ・補導活動、相談業務 	協議	R5.6.28 R5.11.30
ワールドマスターズゲームズ 2021関西坂井市実行委員会	16(0)	2	第7回総会 <ul style="list-style-type: none"> ・委員及び事務局員の変更 ・会長専決処分承認 ・令和4年度事業報告 ・令和4年度収支決算報告 ・令和5年度事業計画 ・令和5年度収支予算 第8回総会(解散総会) <ul style="list-style-type: none"> ・委員の変更 ・令和5年度事業報告 ・令和5年度収支決算報告 	協議	第7回総会 R5.4.6 第8回総会 R5.12.20

3 委員会、審議会等の審議状況

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
坂井市文化財保護審議会	10(2)	3	議案 ・令和5年度の文化財指定候補について ・三國神社拝殿向拝の群猿像の検討について ・坂井市歴史的風致維持向上計画(素案)について ・文化財の新規指定について 報告事項 ・豊原寺薬師如来坐像の県指定について ・令和5年度実施予定の事業について ・坂井市文化財保存活用地域計画の進捗について ・三国湊の古民家調査について ・豊原寺跡試掘調査結果の報告と今後の予定 ・令和6年度能登半島地震による文化財被害について ・丸岡城天守保存活用計画について	会議 会議 会議	R5.7.4 R5.11.21 R6.1.29
坂井市文化未来会議	12(5)	2	・令和5年度の文化振興事業等について ・視察研修について ・先進地視察研修(京都府伊根町:伝統的建造物群保存地区) ・坂井市龍翔博物館 見学 ・令和5年度の文化振興事業等の事業経過について ・令和6年度夏休み子ども文化体験教室について ・スクールコンサートについて ・次期改選について	会議 視察 会議	R5.7.27 R5.10.31 R6.2.5
坂井市一筆啓上日本一 短い手紙の館運営審議会	6(2)	2	・令和5年度事業計画および経過報告について ・令和6年度事業計画(案)について ・委員改選について	会議 会議	R5.8.4 R6.2.20
六呂瀬山古墳群調査 整備委員会	4(0)	2	・発掘調査報告書の内容と今後の進め方について ・令和3年度～4年度で出土した遺物の検討 ・発掘調査報告書の内容確認について ・令和6年度に向けた方向性	会議 会議	R5.5.29 R6.2.21
坂井市文化財保存活用地域 計画協議会	9(3)	1	本市地域計画が令和4年7月22日に文化庁認定。令和5年度からは推進協議会を設置し、地域計画の進捗の検証や見直しを行う。 報告事項 ・坂井市文化財保存活用地域計画について ・令和4年度事業報告 ・推進協議会の目的と役割	協議	R5.5.30
みくに龍翔館リニューアル検討 委員会	7(1)	0	・会議の開催なし		
坂井市図書館協議会	11(7)	2	・図書館の概要について ・令和4年度坂井市立図書館利用状況 ・令和4年度主要事業・各館の行事報告 ・令和4年度決算報告について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度主要事業・各館の行事および予算の概要について	協議	R5.7.12 R6.2.28

※委員数のうち()内は女性の委員数

4 教育委員会関係の許認可の状況

(1) 文化財の指定状況

<指定文化財の現状>

令和6年3月31日現在

区 分	国			県指定	市		計
	指定	選定・選択	登録		指定	登録	
国 宝	1						1
重要文化財	9						9
有形文化財			12	21 (+1)	35 (+1)	3	71 (+2)
無形文化財							0
重要有形民俗文化財							0
有形民俗文化財					1		1
重要無形民俗文化財							0
無形民俗文化財				6	6		12
特別史跡							0
史 跡	2			3	12	3	20
特別名勝							0
名 勝	1						1
特別天然記念物							0
天然記念物	1			3	6		10
特別名勝天然記念物							0
名勝天然記念物	1						1
重要伝統的建造物群 保存地区							0
選定保存技術							0
登録記念物			1				1
合 計	15	0	13	33 (+1)	60 (+1)	6	127 (+2)

※ () 内は年度内増減数

○解除 (1件)

市指定有形文化財 (彫刻 1件)

豊原寺木造薬師如来坐像 (令和5年5月9日解除)

○指定 (3件)

県指定有形文化財 (彫刻 1件)

木造薬師如来坐像 (令和5年5月9日指定)

市指定有形文化財 (絵画 2件)

絹本着色 当麻曼荼羅図 (令和6年2月20日指定)

絹本着色 仏涅槃図 (令和6年2月20日指定)

IV 教育委員会関係事業の取組実績

令和5年度事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	001	教育委員会運営事業					決算書 P. 203		
中事業	01	教育委員会運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		2,734 千円	2,671 千円	63 千円					
前年度		3,044 千円	2,686 千円	358 千円					
主な 特定 財源								千円 千円 千円	
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額 0 千円				
【事業の目的】 生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催する。また、学校教育、社会教育、体育および芸術分野で優秀な成績を収め、活躍した人などを表彰し、一層の振興を図る。									
【事業の概要】									
◆教育委員会運営事業		2,529 千円							
○報酬	教育委員4名	2,400 千円							
○需用費	印刷製本費	9 千円							
○負担金	縣市町教育委員会連絡協議会負担金等	120 千円							
◆教育委員会表彰事業		142 千円							
○報償費	記念品等	126 千円							
○需用費	消耗品費、印刷製本費	16 千円							
【事業の成果等】 月1回の定例会および臨時会を合わせて教育委員会を14回、また、総合教育会議を1回開催し、教育行政について協議を行った。									

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
大事業	051	教育委員会事務局事業					決算書 P. 205		
中事業	01	教育委員会事務局事業					所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課	
予算額	当初,補6,補9	決算額			不用額				
		19,274 千円	14,007 千円	5,267 千円					
前年度		23,261 千円	19,464 千円	3,797 千円					
主な 特定 財源	寄附金 諸収入	指定寄附金 奨学育英資金貸付金元利収入						1,500 千円 842 千円 千円	
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額 0 千円				
【事業の目的】 教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。									
【事業の概要】									
◆教育委員会事務局事業		14,007 千円							
○報酬	会計年度任用職員	1,795 千円							
○職員手当等	期末手当	237 千円							
○旅費	費用弁償、特別旅費	164 千円							
○交際費	教育長交際費	156 千円							
○需用費	消耗品費、食糧費	197 千円							
○役務費	ETCコーポレートカード取扱手数料	1 千円							
○委託料	中高連絡協議会事業委託料等	859 千円							
○使用料	有料道路通行料	4 千円							
○負担金	坂井地区教育振興会負担金等	3,572 千円							
○補助金	坂井市学校創立周年記念事業補助金等	7,022 千円							
【事業の成果等】 教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会や学校創立周年記念事業等に支援を行い、教育振興に取り組んだ。									

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費	
大事業	051	小学校管理事業					決算書 P. 205			
中事業	01	小学校管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課		
予算額	当初,補6,補9	決算額					不用額			
		438,088 千円					407,019 千円			
		407,019 千円					31,069 千円			
前年度		427,804 千円					414,323 千円			
		414,323 千円					13,481 千円			
主な 特定 財源	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					22,451 千円			
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金					68,000 千円			
	繰入金	寄附市民参画基金繰入金					7,146 千円			
予算流用(増減)額		0 千円					予備費充用額	0 千円		
【事業の目的】										
小学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校の適正な維持管理を行う。										
【事業の概要】										
◆小学校管理事業 本庁 274,173 千円										
	○報酬	会計年度任用職員・事務職					1,598 千円			
	○給料	会計年度任用職員・用務員					22,965 千円			
	○職員手当等	通勤手当、期末手当					5,393 千円			
	○旅費	普通旅費					307 千円			
	○需用費	消耗品費、修繕料等					25,449 千円			
	○役務費	通信運搬費、火災保険料等					7,806 千円			
	○委託料	各種保守点検委託料等					70,151 千円			
	○使用料	Webフィルタリング使用料等					6,025 千円			
	○賃借料	土地借上料、電算機器借上料等					73,493 千円			
	○工事請負費	春江小学校屋内運動場玄関防水改修工事等					48,310 千円			
	○原材料費	机天板、椅子座面、グラウンド安定剤等					1,170 千円			
	○備品購入費	緊急地震速報装置、教員用タブレット等					11,506 千円			
◆小学校管理事業 各小学校(市内19校) 132,846 千円										
	○需用費	117,057 千円								
		消耗品費、食糧費					10,956 千円			
		燃料費					6,624 千円			
		光熱水費					93,221 千円			
		修繕料					5,566 千円			
		医薬材料費					690 千円			
	○役務費	郵便料、電話料、ピアノ調律手数料					5,083 千円			
	○委託料	各種保守点検委託料、樹木等管理委託料					4,063 千円			
	○賃借料	コピー機リース料、事務機器借上料					3,313 千円			
	○備品購入費	薬品戸棚、ワイヤレスマイク等					3,330 千円			
【事業の成果等】										
各小学校の適正な維持管理に努め、教育環境の改善に取り組んだ。プール施設の老朽化の著しい5校については、民間委託によりプール学習を実施した。										

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費	
大事業	101	小学校施設整備事業					決算書 P. 207			
中事業	01	小学校施設整備事業					所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課		
予算額	当初,補9	決算額					不用額(翌年度繰越含む)			
		2,119,628 千円					1,224,254 千円			
		1,224,254 千円					895,374 千円			
前年度		2,088,180 千円					849,781 千円			
		849,781 千円					1,238,399 千円			
主な 特定 財源	国庫支出金	学校施設環境改善交付金					201,111 千円			
	市債	合併特例事業債					503,300 千円			
	市債	学校教育施設等整備事業債					420,400 千円			
予算流用(増減)額		0 千円					予備費充用額	0 千円		
【上記決算額内訳】										
当該年度分	予算額	891,368 千円					決算額	15,508 千円		
前年度繰越分	繰越分予算額	1,228,260 千円					繰越分決算額	1,208,746 千円		
	翌年度への繰越額	873,868 千円								
【事業の目的】										
学校施設の経年使用による損傷を改修し、建物の耐久性を高めるとともに、その機能や性能を高める改修をすることにより、建物の長寿命化や教育環境の改善を図る。										
【事業の概要】										
	○委託料	36,232 千円								
		工事監理業務委託料(雄島・加戸・長畝小)					20,724 千円			
		工事設計業務委託料等(三国南小)					15,343 千円			
		警備機器移設業務委託料(加戸・長畝小)					165 千円			
	○工事請負費	1,188,022 千円								
		雄島小学校大規模改造工事<Ⅱ期>					366,080 千円			
		加戸小学校長寿命化改良工事<Ⅰ期>					370,810 千円			
		長畝小学校長寿命化改良工事					451,132 千円			
(翌年度繰越)										
	○委託料	工事監理委託料(加戸・三国南小)					14,398 千円			
	○工事請負費	859,470 千円								
		加戸小学校長寿命化改良工事<Ⅱ期>					412,770 千円			
		三国南小学校長寿命化改良工事<Ⅰ期>					446,700 千円			
【事業の成果等】										
教育環境の整備・改善のため、大規模改造1校と長寿命化改良工事2校、および工事設計業務1校を行った。加戸小Ⅱ期および三国南小Ⅰ期の長寿命化改良工事については、令和6年度へ繰り越して工事を実施し、小学校の環境整備を図る。										

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	中学校管理事業						決算書 P. 211	
中事業	01	中学校管理事業						所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初,補6	決算額			不用額				
	169,463千円	152,037千円			17,426千円				
前年度	150,479千円	147,167千円			3,312千円				
主な 特定 財源	国庫支出金 繰入金 繰入金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 まちづくり整備基金繰入金 寄附市民参画基金繰入金	13,949千円 11,000千円 2,846千円						
予算流用(増減)額	0千円			予備費充用額	0千円				
【事業の目的】 中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校の適正な維持管理を行う。									
【事業の概要】 ◆中学校管理事業 本庁 77,996千円 ○旅費 普通旅費 12千円 ○需用費 消耗品費、修繕料等 6,842千円 ○役務費 通信運搬費、火災保険料等 2,157千円 ○委託料 各種保守点検委託料等 31,497千円 ○使用料 Webフィルタリング使用料等 1,597千円 ○賃借料 土地借上料、電算機器借上料等 23,102千円 ○工事請負費 三国中学校テニスコートフェンス修繕工事等 4,997千円 ○原材料費 机天板、椅子座面、グラウンド安定剤等 636千円 ○公有財産購入費 土地購入費 2,694千円 ○備品購入費 消火器、教員用タブレット等 4,462千円 ◆中学校管理事業 各中学校(市内5校) 74,041千円 ○需用費 68,187千円 消耗品費、食糧費 5,285千円 燃料費 5,815千円 光熱水費 54,807千円 修繕料 1,923千円 医薬材料費 357千円 ○役務費 郵便料、電話料、ピアノ調律手数料 2,445千円 ○委託料 各種保守点検委託料、樹木等管理委託料 1,579千円 ○賃借料 コピー機リース料、事務機器借上料 950千円 ○備品購入費 折りたたみテーブル、多目的棚等 880千円									
【事業の成果等】 各中学校の適正な維持管理に努め、教育環境の改善に取り組んだ。									

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	14	教育振興整備基金費
大事業	001	教育振興整備基金						決算書 P. 241	
中事業	01	教育振興整備基金						所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初	決算額			不用額				
	2千円	1千円			1千円				
前年度	156千円	151千円			5千円				
主な 特定 財源	財産収入	教育振興整備基金利子						1千円	
予算流用(増減)額	0千円			予備費充用額	0千円				
【事業の目的】 坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興および教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。									
【事業の概要】 ○積立金 教育振興整備基金利子 1千円									
(参考)教育振興整備基金の状況 (単位:千円)									
令和4年度末 現在高 ①		令和5年度中増減額		令和5年度末 現在高①-②+③					
		取崩額 ②	積立額 ③						
49,689		1,090	1	48,600					
【事業の成果等】 適切に基金管理を行った。									

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	051	教育相談事業			決算書		P. 203		
中事業	01	教育相談事業			所管	教育委員会事務局	部局	学校教育課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		20,621千円	19,349千円	1,272千円					
前年度		17,548千円	16,660千円	888千円					
主な特定財源	県支出金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金			3,862千円				
				千円					
				千円					
予算流用(増減)額		0千円			予備費充用額				
					0千円				

【事業の目的】
市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰、社会的自立への支援、併せて保護者に対して子どもの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。

【事業の概要】
◆教育相談事業 12,468千円
○報酬 指導員4名、訪問員1名 9,230千円
○職員手当等 期末手当 1,345千円
○報償費 協力者謝礼他 314千円
○旅費 費用弁償、普通旅費 230千円
○需用費 消耗品費、光熱水費他 749千円
○役務費 電話料、火災保険料 87千円
○委託料 各種保守点検料他 110千円
○使用料 インターネット使用料 51千円
○賃借料 電算機器、車両借上料 347千円
○負担金 全国適応指導教室連絡協議会会費 5千円
◆スクールソーシャルワーカー活用事業 6,881千円
○報酬 スクールソーシャルワーカー(SSW)2名 5,788千円
○職員手当等 期末手当 856千円
○旅費 費用弁償2名 219千円
○役務費 電話料 18千円

【事業の成果等】
不登校の児童生徒に対し、適応指導教室と学校が連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行った。また、スクールソーシャルワーカーが学校と連携することにより福祉関係機関につなげるなど、児童生徒本人やその家庭に対して支援を行った。

【事業の実績値等】

	R5実績	R4実績
教育相談件数(教育支援センター分)	392件	376件
適応指導教室通室者復帰率	96.3%	75.0%
SSW訪問活動の回数	555回	504回

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	101	学校・学級運営支援事業			決算書		P. 203		
中事業	01	学校・学級運営支援事業			所管	教育委員会事務局	部局	学校教育課	
予算額	当初,補9	決算額			不用額				
		140,873千円	130,988千円	9,885千円					
前年度		122,744千円	104,194千円	18,550千円					
主な特定財源	県支出金	学校運営支援員配置事業補助金			4,772千円				
	繰入金	寄附市民参画基金繰入金			10,138千円				
					千円				
予算流用(増減)額		0千円			予備費充用額				
					0千円				

【事業の目的】
市内の小中学校における学級運営の円滑化のため、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う学級サポーターを配置するなど、教育環境の充実を図る。
また、専門知識を有する英語教科指導員、特別支援教育指導員を配置して、児童生徒に対する支援体制を強化する。

【事業の概要】
◆学級運営支援事業 123,222千円
○報酬 学級サポーター 89,818千円
○給料 教科指導員 5,722千円
○職員手当等 通勤手当、期末手当 14,519千円
○旅費 費用弁償、普通旅費 2,622千円
○需用費 消耗品費 50千円
○委託料 業務システム修正委託料 220千円
○使用料 入場料、システム使用料 10,164千円
○賃借料 車両借上料 107千円
◆学校運営支援事業 7,766千円
【負担割合】 県 2/3 市 1/3
○報酬 学校運営支援員 7,766千円

【事業の成果等】
発達障がい等により、学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化を図った。
英語教科指導員による小学校教員のスキルアップ、特別支援教育指導員による教員や児童生徒への適切な支援につながった。
また、学校運営支援員を配置して教員の事務負担軽減を図った。

【事業の実績値等】

	R5実績	R4実績
学級サポーター数	70人	68人
学校運営支援員数	22人	21人

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費	
大事業	001	小学校教育振興事業					決算書 P. 209			
中事業	01	小学校教育振興事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額		当初	決算額		不用額					
		85,588 千円	83,177 千円		2,411 千円					
前年度		93,457 千円	85,090 千円		8,367 千円					
主な	県支出金	ふるさとの魅力発信推進事業補助金					400 千円			
特定	繰入金	寄附市民参画基金繰入金					38,353 千円			
財源	繰入金	教育振興整備基金繰入金					1,090 千円			
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額						0 千円
【事業の目的】 創意工夫された教育活動を展開する中で、主体的・対話的で深い学びを実現し、児童にこれからの社会において必要となる「生きる力」を育む教育の充実を図る。										
【事業の概要】										
◆小学校教育振興事業 本庁		60,484 千円								
○報酬	外国語指導助手 8名	5,598 千円								
○報償費	卒業記念品他	897 千円								
○需用費	教材用消耗品費、教育用印刷費	1,320 千円								
○委託料	事業運営委託料(理科・図画・書写作品展)	155 千円								
○使用料及び賃借料		45,267 千円								
	校外活動車両借上料	13,413 千円								
	授業支援ソフト使用料	9,900 千円								
	デジタルドリル使用料	11,761 千円								
	教育用AIロボット使用料他	10,193 千円								
○備品購入費	図書購入費他	6,746 千円								
○負担金	坂井地区特別支援学級合同研修会負担金他	501 千円								
◆小学校教育振興事業 各小学校(市内19校)		18,493 千円								
○報償費	協力者謝礼	66 千円								
○需用費		10,771 千円								
	教材用消耗品費	10,241 千円								
	印刷製本費	233 千円								
	教材備品修繕料	297 千円								
○備品購入費	教材用備品	7,656 千円								
【次頁へ】…										

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費	
大事業	001	小学校教育振興事業					決算書 P. 209			
中事業	01	小学校教育振興事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
…【前頁より】										
◆ふるさと坂井体験学習事業		4,200 千円								
【実施校】4校(県事業対象)+15校(県事業対象外)										
【負担割合】県1/2(1校100千円限度)、市1/2										
○委託料		ふるさと坂井体験学習事業委託料								4,200 千円
		小学校1校あたり300千円・4校分								1,200 千円
実施校		主な活動計画内容								
三国南小	農業体験、味噌づくり体験、三国のよさの再発見活動									
高椋小	野菜づくり・調理体験、味噌づくり体験、丸岡城の学習									
春江小	東尋坊、丸岡城、ゆりの里公園の紹介作品作成・発表									
東十郷小	十郷用水の鹿伝説の紹介作品作成・発表									
※県補助によるふるさとの魅力発信推進事業										
		小学校1校あたり200千円・15校分								3,000 千円
実施校		主な活動計画内容								
三国北小	地域探検学習、福祉学習									
雄島小	磯観察、サーフィン体験、縦割りオリエンテーリング									
加戸小	農業体験(さつまいも・スイカづくり)、茶畑再生プロジェクト									
三国西小	らっきょう漬け体験、地域探検学習									
平章小	地域の魅力発信活動・発表、地元企業の見学・体験									
長畝小	米づくり体験、地元施設訪問・体験学習									
鳴鹿小	農業体験(米・さつまいもづくり)、豆腐づくり見学・体験									
磯部小	地域の生き物調査、地域の魅力学習・調査・発表									
明章小	農業体験(米・さつまいもづくり)、葉っぱずしづくり体験									
春江西小	農業体験、地域との意見交換会、市内の施設見学									
大石小	地元施設見学、ゆりのプランターづくり、米づくり体験									
春江東小	アーモンドの収穫体験、染め体験、お菓子づくり体験									
大関小	米づくり・餅つき体験、さつまいもづくり、市内の企業見学									
兵庫小	米づくり体験、米生産の学習・発表、福祉学習									
木部小	米づくり・笹もちづくり体験作り、ふるさとの町探検									
【事業の成果等】 各小学校が創意工夫をした教育活動を展開した。また、寄附金を利用して授業支援ソフト、デジタルドリル等の活用や学校図書の充実を図ることができた。 ふるさと坂井体験学習事業により、各小学校で特色ある体験活動を展開し、地域への誇りや愛着の醸成を図った。										
【次頁へ】…										

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費	
大事業	001	小学校教育振興事業					決算書 P. 209			
中事業	06	小学校児童健康管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額		当初	決算額		不用額					
		18,668 千円	18,008 千円		660 千円					
前年度		18,476 千円	17,995 千円		481 千円					
主な 特定 財源	県支出金	子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金			151 千円					
	諸収入	日本スポーツ振興センター負担金			2,152 千円					
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額					0 千円	
【事業の目的】 児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。										
【事業の概要】 学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。 ・内科および歯科(全学年)、眼科(2年・5年)、耳鼻科(1年～3年) ・寄生虫(1年～3年)、尿(全学年)、心電図(1年) ○報償費 医師・歯科医師・薬剤師手当 9,846 千円 ○需用費 保健衛生用消耗品・印刷製本費 558 千円 ○役務費 特定自主検査手数料 20 千円 ○委託料 健康診断委託料 2,542 千円 ○備品購入費 保健衛生用備品 693 千円 ○負担金 日本スポーツ振興センター負担金 4,349 千円 加入者数 4,679 人										
【事業の成果等】 学校医と学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭が児童一人ひとりの健康課題について指導を行い、児童の健康の保持増進を図った。 また、県の補助を受け、秋の歯科健診を実施し、保健指導、経過観察および治療への継続的なケアを行い、むし歯予防対策を行った。										
【事業の実績値等】										
		R5実績		R4実績						
スポーツ保険給付件数		230件		162件						

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費	
大事業	001	小学校教育振興事業					決算書 P. 209			
中事業	21	学校生活ボランティア推進事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額		当初	決算額		不用額					
		168 千円	66 千円		102 千円					
前年度		168 千円	55 千円		113 千円					
主な 特定 財源	県支出金	学校生活ボランティア推進事業費補助金			66 千円					
					千円					
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額					0 千円	
【事業の目的】 学校活動において、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら児童の学校生活を支援することで、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実を図る。										
【事業の概要】 ○役務費 傷害保険料 66 千円 加入者数 189人										
【事業の成果等】 読み聞かせや収穫体験、クラブ活動等に対し、学校生活ボランティアとして地域住民の協力を得ることができた。										
【事業の実績値等】										
		R5実績		R4実績						
加入者数		189人		156人						

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業				決算書 P. 209			
中事業	26	ふれあい交流事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初	決算額			不用額				
		4,313 千円			3,591 千円			722 千円	
前年度		1,294 千円			896 千円			398 千円	
主な 特定 財源								千円 千円 千円	
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額	0 千円			
【事業の目的】 市内の他校の児童や中学生などと様々な交流を進めることで、「互いに認め合い、助け合い、励ましあう」豊かな人間性の育成を図る。									
【事業の概要】 ○委託料 圃場管理委託料、小学校音楽会運営業務委託 312 千円 ○賃借料 車両借上料 3,279 千円									
【事業の成果等】 コロナ禍で中止が続いていた音楽交流会や連合運動会を実施することができた。また、小学6年生が進学先の中学校を訪問する小中連携事業を実施し、交流促進を図ることができた。									

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業				決算書 P. 211			
中事業	31	学力充実推進事業				所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初	決算額			不用額				
		2,139 千円			2,012 千円			127 千円	
前年度		2,180 千円			2,030 千円			150 千円	
主な 特定 財源								千円 千円 千円	
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額	0 千円			
【事業の目的】 児童一人ひとりの「確かな学力」の到達状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を実施し、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。									
【事業の概要】 小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査の日程に合わせて、全小学校の2～5年生の国語と算数の2教科について坂井市学力調査を行う。 調査の結果を踏まえ、小学校の研究主任によるワークショップを開催し、各校における傾向や課題を把握し、課題の解決を進め、学力向上に向けた授業づくりの研究等を行う。 ○委託料 学力調査業務委託料 2,012 千円 受検者数 6,006人(2教科延べ人数)									
【事業の成果等】 全国規模のモニター調査によって標準化された「偏差値」を参考に、坂井市における児童の「確かな学力」を分析した。 また、各小学校の児童の調査結果に基づき、継続的・実践的な取り組みを進め、学力向上と教員の指導力向上を図った。									

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費	
大事業	051	児童就学援助事業					決算書 P. 211			
中事業	01	児童就学援助事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初	決算額			不用額					
		24,335 千円	21,202 千円	3,133 千円						
前年度		20,302 千円	20,297 千円	5 千円						
主な 特定 財源	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金		1,512 千円						
	国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金		20 千円						
				千円						
予算流用(増減)額		△555 千円		予備費充用額 0 千円						

【事業の目的】
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】
経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費 21,202 千円
 特別支援教育就学奨励費 3,024 千円
 要・準要保護児童就学援助費 18,178 千円

【事業の成果等】
就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績値等】

	R5実績	R4実績
特別支援教育就学援助人数	128人	116人
要・準要保護児童就学援助人数	379人	371人

※要・準要保護児童就学援助人数に新1年生入学準備金対象者を含む

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費	
大事業	101	小学校通学支援事業					決算書 P. 211			
中事業	01	小学校通学支援事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初,補5	決算額			不用額					
		135,973 千円	134,951 千円	1,022 千円						
前年度		125,035 千円	121,217 千円	3,818 千円						
主な 特定 財源	諸収入	スクールバス利用者協力金		7,077 千円						
				千円						
				千円						
予算流用(増減)額		555 千円		予備費充用額 0 千円						

【事業の目的】
一定距離を超える地区から市内の小学校に通学する児童を対象に、スクールバスの運行や路線バスの活用により、遠距離通学への支援を図る。

【事業の概要】

区分	要件
1年生～3年生	学校からの距離が、概ね1.5km以上の地区
4年生～6年生	学校からの距離が、概ね2.0km以上の地区 (冬期間(12月～2月)は1.5km以上の地区)

○需用費 乗車証印刷製本費 30 千円
 ○委託料 スクールバス運行 131,554 千円
 三国地区(通年6台・冬期6台)
 丸岡地区(通年6台・冬期8台)
 春江地区(通年2台・冬期5台)
 坂井地区(通年3台・冬期4台)
 ○賃借料 車両借上料(三国地区) 1,237 千円
 ○補助金 2,130 千円
 通学費補助金(三国地区) 1,938 千円
 スクールバス停建設補助金(折戸区) 192 千円

【事業の成果等】
スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学をする児童を支援することができた。また、第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。
通学バス停の改修を進め、通学環境の向上を図った。

【事業の実績値等】

	R5実績	R4実績
バス利用者数	1,046人	1,032人

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業			決算書			P.	213
中事業	01	中学校教育振興事業			所管	教育委員会事務局	部局	学校教育課	
予算額	当初	補9	決算額		不用額				
			47,082 千円	44,912 千円	2,170 千円				
前年度			43,041 千円	40,995 千円	2,046 千円				
主な	県支出金	環境・エネルギー教育支援事業補助金		1,223 千円					
特定	県支出金	ふるさとの魅力発信推進事業補助金		100 千円					
財源	繰入金	寄附市民参画基金繰入金		18,252 千円					
予算	流用(増減)額	0 千円		予備費	充用額	0 千円			
【事業の目的】									
創意工夫された教育活動を展開する中で、主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒にこれからの社会において必要となる「生きる力」を育む教育の充実を図る。									
【事業の概要】									
◆中学校教育振興事業	本庁		33,582 千円						
○給料	学校図書館司書	5名	10,946 千円						
○職員手当等	通勤手当、期末手当		2,515 千円						
○報償費	卒業記念品(印鑑)		759 千円						
○旅費	普通旅費		17 千円						
○需用費	教育用印刷費		326 千円						
○使用料及び賃借料			14,895 千円						
	授業支援ソフト使用料		4,950 千円						
	デジタルドリル使用料		5,874 千円						
	教育用AIロボット使用料他		4,071 千円						
○備品購入費	図書購入費他		3,912 千円						
○負担金	坂井地区特別支援学級合同研修会負担金他		212 千円						
◆中学校教育振興事業	各中学校(市内5校)		8,962 千円						
○報償費	協力者謝礼		21 千円						
○需用費			6,397 千円						
	教材用消耗品費		5,393 千円						
	印刷製本費		580 千円						
	教材用備品修繕料		424 千円						
○役務費	傷害保険料		87 千円						
○備品購入費	教材用備品購入費		2,457 千円						
◆環境・エネルギー教育支援事業			1,223 千円						
【実施校】	市内4中学校	【負担割合】	県 10/10						
○備品購入費	理科教材用備品購入費		1,223 千円						

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業			決算書			P.	213
中事業	01	中学校教育振興事業			所管	教育委員会事務局	部局	学校教育課	
…【前頁より】									
◆キャリア教育支援事業			45 千円						
○需用費	事務用消耗品費		45 千円						
◆ふるさと坂井体験学習事業			1,100 千円						
【実施校】	1校(県事業対象) + 4校(県事業対象外)								
【負担割合】	県1/2(1校100千円限度)、市1/2								
○委託料	ふるさと坂井体験学習事業委託料		1,100 千円						
	中学校1校あたり	300千円・1校分	300 千円						
	実施校	主な活動計画内容							
	春江中	職場体験、職業講座、地域の魅力発信活動、福祉学習							
※県補助によるふるさとの魅力発信推進事業									
	中学校1校あたり	200千円・4校分	800 千円						
	実施校	主な活動計画内容							
	三国中	職業講演会、職場体験、探究学習							
	丸岡中	企業訪問・体験、高校生との探究活動、地元PR手ぬぐい製作							
	丸岡南中	地元企業との製作活動							
	坂井中	フラワーロード大作戦、地域を知る・学ぶ・貢献活動							
【事業の成果等】									
授業支援ソフトやデジタルドリル、タブレット端末を活用した学びを推進し、タブレット端末の持ち帰り学習についても実施した。									
また、学校図書館司書を配置し、学習活動や読書活動の充実を図った。									
ふるさと坂井体験学習事業により、各中学校で特色ある体験活動を展開し、地域への誇りや愛着の醸成を図った。									

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	
大事業	001	中学校教育振興事業					決算書 P. 213			
中事業	06	中学校生徒健康管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額		当初	決算額		不用額					
		8,102 千円	7,530 千円		572 千円					
前年度		8,480 千円	8,081 千円		399 千円					
主な 特定 財源	諸収入	日本スポーツ振興センター負担金					1,136 千円			
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額		0 千円				

【事業の目的】
中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。

【事業の概要】
学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。
・内科、歯科健診の実施(全学年)
・尿(全学年)、心電図(1年)検査の実施

○報償費 医師・歯科医師・薬剤師手当 3,155 千円
○需用費 保健衛生用消耗品費、健診票等印刷費他 87 千円
○役務費 特定自主検査手数料 11 千円
○委託料 健康診断委託料 1,981 千円
○負担金 日本スポーツ振興センター負担金 2,296 千円
加入者数 2,473人

【事業の成果等】
学校医と学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭が生徒一人ひとりの健康課題について指導を行い、生徒の健康保持・増進を図った。

【事業の実績値等】

	R5実績	R4実績
スポーツ保険給付件数	315件	275件

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	
大事業	001	中学校教育振興事業					決算書 P. 215			
中事業	16	クラブ活動推進事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額		当初	決算額		不用額					
		27,792 千円	25,715 千円		2,077 千円					
前年度		30,446 千円	26,572 千円		3,874 千円					
主な 特定 財源	県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金					3,313 千円			
線入金		まちづくり整備基金線入金					2,000 千円			
予算流用(増減)額		0 千円		予備費充用額		0 千円				

【事業の目的】
学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。

【事業の概要】
◆クラブ活動推進事業 19,622 千円
○報償費 激励費 2,727 千円
部活動において大会等(北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等)に出場する生徒および指導者に対する経費の一部を支給する。
・北信越中学校総合競技大会(石川県) 1,008 千円
団体6種目97人・個人6種目41人
【出場種目】バレーボール(男)、水泳(女)、サッカー、ソフトボール
ソフトテニス(男女)、柔道(男女)、卓球(男)
陸上(男女)、新体操、バスケットボール(男)
・全国中学校体育大会(四国ブロック) 498 千円
【出場種目】陸上(男)、柔道(女)
・北陸吹奏楽コンクール(石川県金沢市) 616 千円
・中部日本吹奏楽コンクール(静岡県浜松市) 582 千円
・中部日本個人・重奏コンテスト本大会(長野県長野市) 23 千円
○委託料 中学校クラブ活動競技力向上委託料 14,508 千円
・三国中学校 (475人・19クラブ) 2,945 千円
・丸岡中学校 (521人・21クラブ) 3,246 千円
・丸岡南中学校 (307人・13クラブ) 1,975 千円
・春江中学校 (702人・23クラブ) 3,844 千円
・坂井中学校 (408人・16クラブ) 2,498 千円
○備品購入費 吹奏楽部楽器購入費 2,387 千円
・三国中学校 (コンサートトムトム・ダブルタムスタンド)
・丸岡中学校 (ソプラノサクソ)
・丸岡南中学校 (ホルン)
・春江中学校 (トロンボーン)
・坂井中学校 (チューバ)

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	
大事業	001	中学校教育振興事業					決算書 P. 215			
中事業	16	クラブ活動推進事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		

…【前頁より】

- ◆地域スポーツ指導者配置事業 1,072 千円
 【実施校】市内全中学校 15人
 ○報償費 指導謝礼 1,046 千円
 ○役務費 傷害保険料 26 千円
- ◆部活動指導員配置事業 5,021 千円
 【実施校】市内4中学校(三国中、丸岡南中、春江中、坂井中) 20人
 【負担割合】国 1/3 県 1/3 市 1/3
 ○報酬 会計年度任用職員報酬 4,859 千円
 ○旅費 費用弁償 162 千円

【事業の成果等】
 クラブ活動の環境が整備されたことにより、生徒の技術力・競技力が向上し、北信越大会や全国大会等への出場機会が増え、生徒の更なる意欲向上につなげることができた。
 外部指導者の配置を進め、生徒の技術力向上と教員の働き方改革に取り組んだ。

【事業の実績値等】

	R5実績	R4実績
地域スポーツ指導者数	15人	18人
部活動指導員数	20人	12人

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	
大事業	051	生徒就学援助事業					決算書 P. 215			
中事業	01	生徒就学援助事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		

予算額	当初	決算額	不用額
	26,494 千円	19,815 千円	6,679 千円
前年度	20,847 千円	20,097 千円	750 千円
主な 特定 財源	国庫支出金 国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金 要保護児童生徒援助費補助金	924 千円 61 千円
予算流用(増減)額	0 千円		予備費充用額 0 千円

【事業の目的】
 学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】
 経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。
 ○扶助費 19,815 千円
 特別支援教育就学奨励費 1,849 千円
 要・準要保護生徒就学援助費 17,966 千円

【事業の成果等】
 就学援助を必要とする生徒に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
 要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績値等】

	R5実績	R4実績
特別支援教育就学援助人数	46人	45人
要・準要保護児童就学援助人数	256人	273人

※要・準要保護児童就学援助人数に新1年生入学準備金対象者を含む

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	
大事業	101	中学校通学支援事業					決算書 P. 215			
中事業	01	中学校通学支援事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初	補5	決算額			不用額				
			71,752	千円	67,974	千円	3,778			
前年度			61,000	千円	59,344	千円	1,656			
主な 特定 財源	諸収入	スクールバス利用者協力金					6,262			
							千円			
							千円			
予算	流用(増減)額	0			千円	予備費	充用額	0		

【事業の目的】
一定距離を超える地区から市内の中学校に通学する生徒を対象に、スクールバスを運行し、遠距離通学への支援を図る。

【事業の概要】

	区分
全学年	学校からの距離が、概ね4.0km以上の地区 (冬期間(12月~2月)は3.0km以上の地区)

- 委託料 スクールバス運行 64,902 千円
三国地区(通年3台・冬期5台)
丸岡地区(通年1台・冬期2台)
春江地区(冬期3台)
坂井地区(通年1台・冬期3台)
- 補助金 通学バス運行支援事業補助金(丸岡南中学校区) 3,072 千円

【事業の成果等】
スクールバスの委託運行を行うことにより、遠距離通学をする生徒を支援することができた。また、第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。
PTAが主体的に取り組む通学バスの運行の経費支援として、通学バス運行支援事業補助金の交付を行った。

【事業の実績値等】

	R5実績	R4実績
バス利用者数	576人	534人

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費	
大事業	051	学校給食管理事業					決算書 P. 235			
中事業	01	学校給食管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	当初	決算額			不用額					
			70,401	千円	63,520	千円	6,881			
前年度			62,011	千円	57,182	千円	4,829			
主な 特定 財源	県支出金	電源立地地域対策補助金					4,700			
	県支出金	福井の「食」の未来を支える食育推進事業補助金					60			
							千円			
予算	流用(増減)額	0			千円	予備費	充用額	0		

【事業の目的】
「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

- 【事業の概要】
- 給料 52,988 千円
丸岡地区自校調理場調理師 12名
春江坂井学校給食センター調理師 22名
 - 職員手当等 通勤手当、期末手当 10,365 千円
 - 報償費 講師謝礼 40 千円
 - 需用費 講習会等材料費 127 千円

【事業の成果等】
安全で安心な給食を提供するため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図った。
また、栄養教諭が中心となって、市内の小学5年生を対象に、食の基本である「だし」について授業を実施し、健康な食生活を送るための体験学習に取り組んだ。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費		
大事業	051	学校給食管理事業			決算書 P. 237						
中事業	16	丸岡学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課					
予算額	当初	決算額			不用額						
		239,141	千円	219,561	千円	19,580				千円	
前年度		241,099	千円	218,320	千円	22,779				千円	
主な 特定 財源	国庫支出金	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金			10,114					千円	
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			61,000					千円	
	諸収入	小中学校給食負担金			78,487					千円	
予算流用(増減)額		0			千円	予備費充用額	0				千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

◆丸岡学校給食管理事業 本庁	14,747	千円	
○旅費	普通旅費	1	千円
○需用費		4,693	千円
	消耗品費(給食衛生用、給食用食器)	2,359	千円
	修繕料(給食用器具等)	1,985	千円
	賄材料費	349	千円
○役務費	検査手数料(食材・調理師腸内細菌検査)	1,298	千円
○委託料	調理場内害虫駆除委託料	761	千円
○備品購入費	給食用備品購入費	7,994	千円
◆丸岡学校給食管理事業 丸岡	204,814	千円	
自校式5校1園(平章小・長畝小・高棕小・磯部小・明章小・高棕幼)			
○需用費		97,956	千円
	消耗品費(給食用消耗品費他)	1,789	千円
	光熱水費(ガス料)	7,663	千円
	賄材料費(給食材料費および牛乳代)	88,504	千円
民間委託3校(丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小)			
○需用費		11,662	千円
	消耗品費(給食用消耗品費)	80	千円
	賄材料費(牛乳代他)	11,582	千円
○委託料	学校給食調理業務等委託料	95,196	千円
	(社福)つぐみ福祉会委託分(鳴鹿小)	9,905	千円
	(社福)つぐみ福祉会委託分(丸岡南中)	38,399	千円
	(有)ランチサービス委託分(丸岡中)	46,892	千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業			決算書 P. 237				
中事業	16	丸岡学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課			

…【前頁より】

【事業の成果等】

昨年度に引き続き、保護者の経済的負担を軽減するために給食費半額を継続して実施した。給食の食材については、地元業者を中心に市内または県内産のものを可能な限り取り入れ、地産地消の推進に努めた。また、その内容を献立表等でお知らせするなど、食育としての取り組みを行った。

【事業の実績値等】

給食の状況	給食人員(日)	給食延数
	2,662 人	505,895 食
地場産(県産)食材 使用率(実績)	R5	R4
	44.1 %	46.9 %

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業			決算書		P. 235		
中事業	06	三国学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター			
予算額	当初,補6	決算額			不用額				
		304,785 千円	303,058 千円	1,727 千円					
前年度		303,081 千円	300,848 千円	2,233 千円					
主な 特定 財源	国庫支出金 繰入金 諸収入	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 まちづくり整備基金繰入金 小中学校給食負担金	8,246 千円 43,000 千円 66,665 千円						
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円					
【事業の目的】 「園児・児童・生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。									
【事業の概要】 中学校1校(三国)、小学校9校(三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・大石・大関・兵庫・木部)、幼保園等4園(みくに未来・加戸・三国南、雄島)の計14施設に給食を提供する。一般食のほか月に月齢に合わせた離乳食やアレルギー食を提供する。 なお、幼保園、子ども園分に係る費用については保育園費にて対応している。									
○需用費 165,788 千円									
		消耗品費(事務、施設管理、給食用等)	2,474 千円						
		燃料費(ガソリン)	39 千円						
		光熱水費(電気、ガス、水道)	38,850 千円						
		修繕料(給食用備品、施設等)	1,271 千円						
		賄材料費(給食材料費)	123,154 千円						
○役務費 841 千円									
		通信運搬費(電話料)	162 千円						
		手数料(細菌検査、異物検査等)	467 千円						
		火災保険料	180 千円						
		自動車保険料	32 千円						
○委託料 135,955 千円									
		空調設備保守点検委託料	3,286 千円						
		給食配送業務委託料(株アイエス)	30,098 千円						
		ボイラー保守点検委託料(貯湯槽等)	1,342 千円						
		給食調理業務委託料(株メフォス)	97,680 千円						
		調理機器点検委託料	457 千円						
		施設保守点検委託料(排水処理施設等)等	3,092 千円						
【次頁へ】…									

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業			決算書		P. 235		
中事業	06	三国学校給食管理事業			所管 部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター			
…【前頁より】									
○使用料		CATV利用料		放送受信料		48 千円 34 千円 14 千円			
○賃借料		コピー機リース料		165 千円					
○備品購入費		給食用備品購入費		249 千円					
○負担金		学校給食センター連絡協議会負担金		4 千円					
○公課費		自動車重量税		8 千円					
【事業の成果】 物価高騰等による保護者の経済的負担を軽減するために給食費半額を継続して実施した。給食の食材については、特に野菜類などは、猛暑の影響による生育不良等により必要な数量を手配することが難しい時期もあったが、地元業者を中心に市内または県内産のものを可能な限り取り入れ、地産地消の推進に努めた。また、献立表等で地場産の食材についてお知らせするなど、食育としての取り組みを行った。									
【事業の実績値等】									
給食の状況		給食人員(日)			給食延数				
		小中学校	2,239 人		423,353 食				
		幼保園等	486 人		120,379 食				
合計		2,725 人			543,732 食				
地場産(県産)食材 使用率(実績)		R5			R4				
		50.9 %			56.9 %				

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業					決算書 P. 237		
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 春江・坂井学校給食センター	
予算額	当初,補6	決算額			不用額				
	268,743 千円	261,922 千円			6,821 千円				
前年度	264,999 千円	262,400 千円			2,599 千円				
主な 特定 財源	国庫支出金 繰入金 諸収入	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 まちづくり整備基金繰入金 小中学校給食負担金	50,893 千円 23,000 千円 88,401 千円						
予算流用(増減)額	0 千円			予備費充用額	0 千円				
【事業の目的】 「園児・児童・生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。									
【事業の概要】 中学校2校(春江・坂井)、小学校4校(春江・春江西・春江東・東十郷)、幼保園2園(春江・春江東)の計8施設に給食を提供する。一般食のほかにアレルギー食を提供する。また、新鮮な地元農産物を給食材料として使用し、地産地消を推進するとともに安全安心な学校給食を提供する。									
○需用費 224,956 千円 消耗品費(被服、施設管理、給食用等) 7,949 千円 燃料費(ガソリン) 23 千円 光熱水費(電気、ガス、水道) 42,840 千円 修繕費(給食用備品、施設等) 2,357 千円 賄材料費(給食材料) 171,787 千円									
○役務費 2,416 千円 通信運搬費(郵便、電話料) 176 千円 手数料(細菌検査) 2,019 千円 火災保険料 190 千円 自動車保険料 31 千円									
○委託料 33,883 千円 エレベーター保守点検委託料 664 千円 施設保守点検委託料(排水処理施設等) 7,337 千円 電気工作物保守点検委託料 599 千円 配送業務委託料(株アイエス) 21,979 千円 ボイラー保守点検委託料 782 千円 調理機器点検委託料等 2,522 千円									
【次頁へ】…									

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業					決算書 P. 237		
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 春江・坂井学校給食センター	
…【前頁より】									
○使用料 91 千円 放送受信料 14 千円 有料道路使用料 7 千円 デマンド監視システム使用料 70 千円									
○賃借料 コピー機リース料 162 千円									
○備品購入費 404 千円 施設用備品購入費 190 千円 給食用備品購入費 214 千円									
○負担金 学校給食センター連絡協議会負担金 5 千円									
○公課費 自動車重量税 5 千円									
【事業の成果等】 物価高騰等による保護者の経済的負担を軽減するために給食費半額を継続して実施した。給食の食材については、地元業者や地場産を中心とした安全・安心な食材を取り入れ、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。また、献立表等で地場産の食材についてお知らせするなど、食育としての取り組みを行った。									
【事業の実績値等】									
給食の状況		給食人員(日)			給食延数				
		小中学校	2,905 人	566,096 食					
		幼保園等	124 人	23,923 食					
合計		3,029 人			590,019 食				
地場産(県産)食材 使用率(実績)		R5			R4				
		46.5 %			50.3 %				

予算	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	05 児童福祉施設費		
大事業	151	子どもの遊び場整備事業			決算書 P. 137			
中事業	01	子どもの遊び場整備事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初				決算額	不用額		
		78 千円			71 千円	7 千円		
前年度		千円			千円	0 千円		
主な 特定 財源						千円 千円 千円		
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額	0 千円		
【事業の目的】 公共施設の改修等により、天候にかかわらず子どもたちが安心して遊ぶことができる遊び場を整備し、心身ともに健やかな子どもの育ちを支援する。								
【事業の概要】 プロポーザル方式による設計業者選定を行い、設計業者を決定した。 ・期間(広告～結果通知交付) 令和5年11月14日～令和6年2月21日 ・応募社数 5社 ・最優秀提案者 (株)走坂建築設計事務所(遊具協力会社 (株)ジャクエツ)								
○報酬		委員謝礼(プロポーザル審査委員4名)				65 千円		
○需用費		食糧費(会議用お茶、審査会時昼食)				6 千円		
【事業の成果等】 整備に向けた施設コンセプトを基に、各社趣向を凝らした設計案の提案があり、他にはない坂井市独自の個性ある施設整備案を採択することができた。								

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		
大事業	051	社会教育事業			決算書 P. 215			
中事業	01	社会教育事務事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初				決算額	不用額		
		13,678 千円			13,660 千円	18 千円		
前年度		11,699 千円			10,936 千円	763 千円		
主な 特定 財源	県支出金	人権問題社会教育指導員設置費補助金				216 千円		
予算流用(増減)額		△336 千円			予備費充用額	0 千円		
【事業の目的】 社会教育法に基づく社会教育委員の会を設置し、社会教育行政全般における調査および審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、市民に幅広く学ぶ機会を提供する。								
【事業の概要】 社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営								
○報酬						10,750 千円		
		社会教育委員報酬15名				510 千円		
		会計年度任用職員(社会教育指導員、事務員)報酬6名				10,240 千円		
○職員手当		会計年度任用職員 期末手当6名				1,562 千円		
○旅費						295 千円		
		会計年度任用職員通勤手当、自家用車借上料						
○需用費						9 千円		
		消耗品費等				4 千円		
		委員等賄				5 千円		
○委託料		生涯学習講演会業務委託料				650 千円		
○負担金						394 千円		
		県社会教育委員連絡協議会負担金				40 千円		
		東海北陸社会教育研究大会負担金				39 千円		
		県社会教育連絡協議会会費				15 千円		
		PTA東海北陸ブロック研究大会負担金				300 千円		
【事業の成果等】 社会教育委員の会を年3回開催し、各種研修会にも参加した。また、合宿通学事業と放課後子ども教室の実行委員として、防災合宿や各地区で開催されている放課後子ども教室等の視察を行った。								
【事業の実績値等】								
		目標値			実績			
会議開催数		3回			3回			

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
大事業	051	社会教育事業					決算書 P. 217			
中事業	06	社会教育団体補助事業					所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	1,840 千円			決算額			1,772 千円		
前年度		1,840 千円						86 千円		
主な 特定 財源								千円 千円 千円		
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】										
補助金の交付により社会教育団体の育成と促進を図る。										
【事業の概要】										
○補助金 1,772 千円										
坂井市PTA連合会事業補助金 250 千円										
青少年育成団体運営補助金 210 千円										
・ボーイスカウト第5団 70 千円										
・ガールスカウト第17団 70 千円										
・ガールスカウト第20団 70 千円										
坂井市かるた協会事業補助金 312 千円										
坂井市女性の会運営補助金 1,000 千円										
【事業の成果等】										
地域社会の活力向上や、社会教育活動を通じた市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営を支援し、組織の育成を図った。なお、各団体には自己財源の確保等による補助金割合の適正化を促しており、今後も自主運営力を高める必要がある。										
【事業の実績値等】										
		R5年度			R4年度					
補助団体数		6団体			7団体					

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
大事業	151	市民運動推進事業					決算書 P. 217			
中事業	01	市民運動推進事業					所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	340 千円			決算額			340 千円		
前年度		340 千円						0 千円		
主な 特定 財源								千円 千円 千円		
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】										
市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。										
【事業の概要】										
○負担金 坂井市民運動推進協議会負担金 340 千円										
第18回坂井市花壇コンクール										
審査日 8月21日(月) 三国地区・広域										
8月22日(火) 坂井地区・丸岡地区										
8月23日(水) 春江地区										
場 所 市内の花壇										
参加数 54団体										
坂井市ふるさとづくり大会										
期 日 12月9日(土)										
場 所 みくに未来ホール										
内 容 坂井市市民運動実践者表彰										
花壇コンクール入賞団体表彰										
記念講演会「出張! ゴルゴ塾 命の授業」										
講師 お笑いコンビTIM ゴルゴ松本氏										
【事業の成果等】										
「坂井市ふるさとづくり大会」を青少年育成坂井市民会議と合同で開催し、より一層豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを目指して市民運動への意識向上と推進を図った。										
【事業の実績値等】										
		R5年度			R4年度					
花壇コンクール参加数		54団体			53団体					

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費	決算書	
大事業	001	国際交流推進事業				P. 217					
中事業	01	国際交流推進事業				所管	教育委員会事務局	部局	生涯学習スポーツ課		
予算額	当初,補9	決算額				不用額					
		77千円		42千円				35千円			
前年度		164千円		102千円				62千円			
主な									千円		
特定									千円		
財源									千円		
予算流用(増減)額		0千円				予備費充用額				0千円	
【事業の目的】 市内中学校生徒の英国への派遣と英国からの生徒の坂井市招へいを実施し、相互のホームステイや授業参加などを通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。 また、中学校1、2年生を対象とする英国派遣団の事前研修体験イベントや、国際交流イベントを開催し、より多くの生徒に国際交流の機会を提供する。											
【事業の概要】 ※英国招へい・英国派遣事業は世界情勢と交流先の申し出により中止 ・坂井市アンバサダー事業 〈日程〉 夏季休暇期間中3回、10月、11月、12月に各1回 計6回 〈参加人数〉 市内中学校1、2年生 17名(男子2人、女子15人) 12月のオンライン交流のみ中学生と高校生12人(男子) ○報償費 指導謝礼(県内ALT等) 27千円 ○需用費 消耗品費 15千円											
【事業の成果等】 英国派遣事業および招へい事業の代替事業として、今年度はお互いに自分たちの住むところの生活や文化を紹介する動画を作成し、交換した。英語による動画の作成や交流先の生徒の動画を視聴することで、異文化理解や学校とは違う環境での外国語学習の促進を図った。また、研修の最終回では、グループに分かれオンライン交流を行い、直接交流先の生徒たちと英会話によるコミュニケーションをとる機会を提供した。											
【事業の実績値等】											
			目標値						実績		
			オンライン交流回数					1回	1回		

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費	決算書	
大事業	001	青少年健全育成事業				P. 217					
中事業	01	子ども会育成事業				所管	教育委員会事務局	部局	生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	決算額				不用額					
		2,145千円		2,069千円				76千円			
前年度		2,145千円		2,051千円				94千円			
主な									千円		
特定									千円		
財源									千円		
予算流用(増減)額		0千円				予備費充用額				0千円	
【事業の目的】 幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材を育成する。											
【事業の概要】 ○負担金 福井県子ども会育成連合会負担金等 158千円 ○補助金 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金 1,911千円 ジュニアリーダーズクラブ活動日数(重複含む)											
			令和5年度								
		依	頼					30日			
		例	会					72日			
		自主企画						2日			
		合	計					104日			
【事業の成果等】 青少年のリーダー育成を目的に、坂井市子ども会育成連絡協議会を事業主体として子ども会活動の支援や組織の育成を図った。チャレンジランキング大会については、新型コロナウイルス感染症の影響もなく、各町の協議会で開催することができた。ディスクドッジ大会は各町および坂井地区(あわら市・坂井市)にて開催した。壁新聞コンクールでは26作品の応募があった。また、ジュニアリーダーズクラブは継続して学校や子ども会などの依頼対応を行うとともに、活動の幅を広げてジュニアリーダー数の増員を図るため、各子ども会やコミュニティセンターなどから派遣依頼のあったイベントへの参加や自主企画を行った。											
【事業の実績値等】											
			R5年度					R4年度			
		壁新聞出品数		26作品				24作品			

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			決算書		P. 217		
中事業	06	はたちのつどい事業			所管	教育委員会事務局	部局	生涯学習スポーツ課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		1,469 千円			1,094 千円		375 千円		
前年度		1,384 千円			1,219 千円		165 千円		
主な					千円				
特定					千円				
財源					千円				
予算	流用(増減)額	0 千円			予備費充用額				
					0 千円				
【事業の目的】									
20歳になる市民等を対象とし、「はたちのつどい」として実施することで成人としての社会的責任への自覚を改めて促し、ふるさと坂井市への想いや地元での活躍、地域貢献への意識醸成を図る。									
【事業の概要】									
〈期 日〉3月17日(日) 受付 12時30分～ 式典 13時30分～									
〈会 場〉ハートピア春江									
〈開催方法〉1部制による									
〈対象者〉令和5年度に20歳を迎えた人(H15.4.2～H16.4.1生まれ)989名									
〈参加者〉764名(参加率77.2%)									
○報償費 715 千円									
実行委員等謝礼 50 千円									
記念品等(ポストカード等) 665 千円									
○需用費 282 千円									
消耗品費 96 千円									
食糧費 136 千円									
印刷製本費 50 千円									
○役務費 通信運搬費・手数料 80 千円									
○使用料 会場使用料 17 千円									
【事業の成果等】									
当年度20歳を迎える成人ではたちのつどい実行委員会を結成し、準備段階から当日にいたるまで自らも楽しむことを目標に企画、運営を行い、参加者が満足できる催しとした。									
【事業の実績値等】									
		R5年度	R4年度						
はたちのつどい出席率		77.2%	72.7%						

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			決算書		P. 217		
中事業	11	わんぱく少年団事業			所管	教育委員会事務局	部局	生涯学習スポーツ課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		5,556 千円			4,271 千円		1,285 千円		
前年度		5,219 千円			4,668 千円		551 千円		
主な	繰入金	寄附市民参画基金繰入金			3,821 千円				
特定	諸収入	わんぱく王国参加者負担金			330 千円				
財源	諸収入	わんぱく少年団参加者負担金			120 千円				
予算	流用(増減)額	0 千円			予備費充用額				
					0 千円				
【事業の目的】									
自然の中で行う様々な体験を通じ、仲間との協力の大切さを学ぶとともに積極性と自立心の向上を目的とする。また、活動を通して坂井市の豊かな自然への気づきを促す。									
【事業の概要】									
◆わんぱく少年団事業 386 千円									
「2023 SAKAIわんぱく少年団」(7月～2月、坂井市内小学校5・6年生22人)									
①結団式、②夏キャンプ、③トレッキング、④勾玉づくり&龍翔博物館クイズラリー、⑤思い出フォトフレーム作り、⑥レクリエーション&修了式									
○報償費 講師謝礼 28 千円									
○需用費 258 千円									
消耗品費 99 千円									
食糧費 159 千円									
○役務費 損害保険料 18 千円									
○使用料及び賃借料 82 千円									
車両借上料 27 千円									
体験学習使用料 55 千円									
◆わんぱく王国事業 3,885 千円									
地域団体の協力のもと、全22種(海8種、山11種、その他3種)のメニューを実施									
○需用費 457 千円									
消耗品費 67 千円									
食糧費 2 千円									
印刷製本費 388 千円									
○役務費 損害保険料 352 千円									
○委託料 事業運営委託料 1,737 千円									
○備品購入費 貸出用備品購入費 1,339 千円									
【事業の成果等】									
わんぱく少年団事業では、小学5、6年生を対象とし、キャンプやトレッキング等自然体験活動の機会を図った。また、ジュニアリーダーズクラブがスタッフとして加わったことにより、青少年リーダー育成を図った。わんぱく王国事業では、寄附市民参画制度を活用し、市内の全児童を対象とした自然体験プログラム(チャレンジメニュー)を提供することで、児童の健全育成に寄与することを目指した。									
【事業の実績値等】									
		登録者数	延べ参加者数						
わんぱく王国参加者数		293人	561人						

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			決算書		P. 219		
中事業	16	青少年育成坂井市民会議事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課			
予算額	当初	決算額			不用額				
		2,126 千円	2,103 千円	23 千円					
前年度		2,126 千円	2,063 千円	63 千円					
主な 特定 財源				千円 千円 千円					
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額				
					0 千円				

【事業の目的】
近年の青少年を取り巻く環境に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】

青少年育成坂井市民会議の主な活動

期日	事業名	場所
4月27日(木)	第1回理事会	市役所 交流ホール
5月25日(木)	青少年育成坂井市民会議総会	いねす
6月3日(土)	第11回青少年育成福井県民会議総会	福井県生活学習館
6月23日(金)	青少年育成市町民会長会議	福井県職員会館ビル
6月28日(水)	赤ちゃん抱っこ体験学習	三国中学校
6月29日(木)	赤ちゃん抱っこ体験学習	三国中学校
7月15日(土)	一斉街頭啓発キャンペーン	アミ、イーザ
9月13日(水)	第2回理事会	市役所 大ホール
10月3日(火)	赤ちゃん抱っこ体験学習	丸岡南中学校
10月6日(金)	赤ちゃん抱っこ体験学習	春江中学校
10月19日(木)	赤ちゃん抱っこ体験学習	丸岡中学校
10月20日(金)	赤ちゃん抱っこ体験学習	丸岡中学校
11月8日(水)	赤ちゃん抱っこ体験学習	三国中学校
11月8日(水)	第3回理事会	市役所 交流ホール
11月11日(土)	一斉街頭啓発キャンペーン	ピアゴ、プラント2
11月25日(土)	青少年健全育成福井県民大会	越前市いまだて芸術館
12月9日(土)	坂井市ふるさとづくり大会	みくに未来ホール
3月7日(木)	第4回理事会	市役所 研修室1

○補助金 青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,103 千円

【事業の成果等】

4年ぶりに開催された「赤ちゃん抱っこ体験学習」の運営協力を行うことで、赤ちゃんと触れ合う中学生に命の尊さを実感してもらった。また、いきいき見守り隊活動も継続し、市民の普段の生活の中で気軽に見守り等に取り組むことで、安全・安心な環境づくりを図った。

【事業の実績値等】

	R5年度	R4年度
いきいき見守り隊隊員数	47人	44人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			決算書		P. 219		
中事業	21	放課後子ども教室推進事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課			
予算額	当初	決算額			不用額				
		2,250 千円	1,759 千円	491 千円					
前年度		2,250 千円	1,732 千円	518 千円					
主な 特定 財源	県支出金	放課後子ども教室推進事業補助金			573 千円 千円 千円				
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額				
					0 千円				

【事業の目的】
地域づくりとコミュニティの拠点であるコミュニティセンターにおいて放課後子ども教室を実施し、子どもたちにとって多様で有意義な学習・体験の機会を提供する。

【事業の概要】

コミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域住民の協力を得て実施する。各地域の実情に合わせながら、書道やお菓子作り、写生教室など長期休暇の宿題を中心とした教室や、生け花教室、三味線教室、英語教室などを定期的に開催し、子どもたちが学べる多様な機会を提供する。

○委託料 放課後子ども教室実施委託料 1,759 千円
(参加者延べ5,981人・開催日数合計514日)

【事業の成果等】

地域のボランティアの協力のもと、子どもたちの居場所を確保しながら、地域の資源や特徴に応じた様々な学習・体験を提供することで、子どもたちの安全・安心な居場所づくりを行った。

【事業の実績値等】

	R5年度	R4年度
開催日数合計	514日	477日

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			決算書		P. 219		
中事業	26	合宿通学事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課			
予算額	当初	決算額			不用額				
		871千円	635千円	236千円					
前年度		693千円	513千円	180千円					
主な 特定 財源				千円 千円 千円					
予算流用(増減)額		△9千円			予備費充用額 0千円				

【事業の目的】
小学高学年の児童を対象に家庭を離れ、合宿生活を体験させることで、日常生活における家族への感謝の気持ちを育み、また自主性、協調性を育てる。その他、地域の方々の協力を得て行うことにより、子どもと地域の結びつきの強化を図る。

【事業の概要】

●防災合宿

実施内容 避難所宿泊体験(1泊2日)

期間	場所	対象者	参加人数
6月2日(金)～3日(土)	鳴鹿小学校体育館	鳴鹿小学校5年生	16名
6月9日(金)～10日(土)	東十郷小学校体育館	東十郷小学校6年生	22名
6月16日(金)～17日(土)	春江東小学校体育館	春江東小学校5年生	33名
10月27日(金)～28日(土)	三国北小学校体育館	三国北小学校6年生	16名
合計			87名

○委託料 合宿通学事業業務委託料 635千円

【事業の成果等】

今年度も「防災合宿」をテーマに実施した。児童が小学校に開設された避難所で一泊する想定で、段ボールベッドや災害用テント、間仕切りの組み立て、防災学習や非常食調理体験など、教育カリキュラムの中で学習する防災教育を応用し実際に体験させることができた。また、まちづくり協議会、日赤奉仕団、更生保護女性の会など様々な協力団体の力も借りながら協働により実施し、子どもと地域の結びつきの強化を図った。

また、まちづくり協議会が主催する防災キャンプ(合宿)への支援も行った。

【事業の実績値等】

	R5年度	R4年度
実施校数	4校	4校

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			決算書		P. 219		
中事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業			所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課			
予算額	当初	決算額			不用額				
		744千円	606千円	138千円					
前年度		667千円	0千円	667千円					
主な 特定 財源	諸収入	坂井・延岡ジュニア交流隊参加負担金			126千円 千円 千円				
予算流用(増減)額		0千円			予備費充用額 0千円				

【事業の目的】
宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学生を対象に両市の名所旧跡を学習することで人的交流を図り、両市の縁を強めつつ、郷土愛の醸成を目的とする。

【事業の概要】

1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。令和5年度は、延岡市の児童が坂井市を訪問する年であり、8月1日から3日の期間に東尋坊や丸岡城、坂井市龍翔博物館などの施設見学や、坂井市児童との交流を行った。

○報償費	協力謝礼、記念品	56千円
○需用費	大会・行事用消耗品費	352千円
	食糧費(行事等賄)	263千円
	印刷製本費(写真現像焼付代)	5千円
○役務費		22千円
	通信運搬費	1千円
	傷害保険料	21千円
○使用料及び賃借料		176千円
	車両借上料	122千円
	入場料	41千円
	体験学習使用料	13千円

【事業の成果等】

坂井市と延岡市の児童が、互いの地域の文化的なつながりを学び、2泊3日の期間のなかでレクリエーションや施設での活動を通して交流を深めたことで、郷土の歴史を尊重する心の育成を図った。今後も状況に応じた、坂井市と延岡市の子どもの交流を継続し、両市の歴史と風土を学ぶ機会を提供していく。

【事業の実績値等】

	R5年度	R4年度
事業参加者	21人(延岡:13人)	中止

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	051	心の家庭教育支援事業				決算書 P. 219			
中事業	01	心の家庭教育支援事業				所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額		当初	決算額		不用額				
		1,587千円	1,203千円		384千円				
前年度		1,611千円	1,606千円		5千円				
主な 特定 財源								千円 千円 千円	
予算流用(増減)額		0千円		予備費充用額		0千円			
【事業の目的】 家庭の教育力向上を図るため、現在子育て中の保護者が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支える基盤形成を促進する。									
【事業の概要】 ・子育て講座 小学校を中心に多くの保護者が集まる機会(就学時健診時等)を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。(1校) ・家庭教育支援チーム 元教員、元保育士、子育て経験者などで結成し、子ども相談室や保護者相談などを通して家庭教育の支援を行った。 ・広報紙の発行 子育てに関する情報やアドバイス等を掲載した広報紙「ほやほや」を年4回発行した。									
○報償費		1,094千円							
		子育て講座講師謝礼		10千円					
		家庭教育支援チーム員手当(29名)		1,084千円					
○需用費		86千円							
		消耗品費		70千円					
		食糧費		16千円					
○役務費		23千円							
		家庭教育支援チーム員傷害保険料							
【事業の成果等】 各地区で家庭教育支援チームを結成し、支援員が市内の小中学校14校で月2回程度の子ども相談室を開催して子どもたちに寄り添った。保護者相談会は計26回開催し、小中学校の保護者会や就学時健康診断時などを活用して子育てに関する保護者の悩みを聞くなどのサポートを行った。また、県主催の親学びワークショップ研修会に参加し、支援員の相談対応技術力向上を図った。今後も継続して支援員のスキルアップを図り、相談対応の充実に努める。									
【事業の実績値等】									
		R5年度	R4年度						
家庭教育支援チーム員数		29人	33人						

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大事業	001	愛護センター事業				決算書 P. 219			
中事業	01	愛護センター事業				所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額		当初	決算額		不用額				
		11,634千円	11,152千円		482千円				
前年度		11,005千円	10,305千円		700千円				
主な 特定 財源		県支出金	青少年愛護センター運営費補助金				362千円 千円 千円		
予算流用(増減)額		390千円		予備費充用額		0千円			
【事業の目的】 青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を補導活動等により防止することで、青少年の健全育成を図る。									
【事業の概要】									
○報酬		会計年度任用職員(パートタイム)報酬3名		5,452千円					
○給料		会計年度任用職員(フルタイム)給料1名		2,198千円					
○職員手当				1,333千円					
		会計年度任用職員時間外(フルタイム)		449千円					
		会計年度任用職員期末手当4名		884千円					
○報償費		一般補導員手当		930千円					
○旅費		会計年度任用職員(パートタイム)通勤手当3名		101千円					
○需用費				821千円					
		消耗品費		202千円					
		燃料費		340千円					
		食糧費		25千円					
		印刷製本費		122千円					
		修繕費		132千円					
○役務費				76千円					
		手数料		31千円					
		自動車保険料		45千円					
○委託料				223千円					
		エンゼルロード警備保障委託		185千円					
		コピー機保守点検委託		38千円					
○賃借料		コピー機リース料		13千円					
○公課費		自動車重量税		5千円					
【事業の成果等】 委嘱補導員292名による補導活動をはじめ、各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後も各関係機関と連携した補導体制の充実に努めていく。									
【事業の実績値等】									
		R5年度	R4年度						
委嘱補導員数		292人	311人						

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業				決算書 P. 231			
中事業	01	スポーツ推進委員運営事業				所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	決算額			不用額				
		2,550 千円	2,144 千円	406 千円					
前年度		1,770 千円	1,448 千円	322 千円					
主な 特定 財源				6 千円 千円 千円					
予算流用(増減)額		△10 千円			予備費充用額				
				0 千円					
【事業の目的】									
スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行い、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行うことができるようサポートする。									
【事業の概要】									
・派遣指導(マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座)23回/年									
・各種大会への協力 坂井古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他									
・会議等の開催 全体会1回、部会等7回									
○報酬	スポーツ推進委員報酬(@32千円×37人)				1,184 千円				
○旅費	全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会				290 千円				
○需用費					359 千円				
	被服費				272 千円				
	定期刊行物購読料				5 千円				
	資料購入代				10 千円				
	啓発用消耗品費				72 千円				
○役務費	傷害保険料				64 千円				
○委託料	しあわせの花体操用編曲音源制作費				88 千円				
○使用料	北陸地区スポーツ推進委員研修会高速料金				8 千円				
○負担金					151 千円				
	会議・研修会参加負担金				77 千円				
	県スポーツ推進委員協議会負担金				19 千円				
	県スポーツ推進委員協議会会費				55 千円				
【事業の成果等】									
まちづくり協議会や地区の体育協会からの派遣依頼が多くあり、体操指導やニュースポーツ指導等を実施した。また、子ども会のディスクドッジ大会に向けた審判講習会や大会当日の審判等も実施した。今後は、派遣指導のほかHPの作成等の広報活動にも力を入れ、スポーツを通して市民の健康づくりに貢献できる取り組みを実施していきたい。									
【事業の実績値等】									
		目標値			実績				
	派遣依頼数	15件			23件				

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	201	部活動地域移行事業				決算書 P. 233			
中事業	01	部活動地域移行事業				所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予算額	当初,補9	決算額			不用額				
		2,292 千円	1,955 千円	337 千円					
前年度		千円	千円	0 千円					
主な 特定 財源	国支出金	地域スポーツクラブ活動体制整備事業補助金			1,327 千円				
	県支出金	地域スポーツクラブ活動体制整備事業補助金			295 千円				
					千円				
予算流用(増減)額		10 千円			予備費充用額				
				0 千円					
【事業の目的】									
休日の運動部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ環境の一体的な整備に向け、スポーツ団体等の整備充実、指導者の確保等を総合的に推進し、地域において持続可能な中学生のスポーツ活動の機会を確保する。									
【事業の概要】									
○報酬	総括コーディネーター報酬				1,121 千円				
○職員手当等	総括コーディネーター期末手当				71 千円				
○旅費					68 千円				
	費用弁償				42 千円				
	特別旅費				26 千円				
○委託料	クラブチーム運営委託費				695 千円				
【事業の成果等】									
総括コーディネーターを配置し、中学校や運営団体との連絡調整を円滑に図ることができた。未来の地域スポーツ推進委員会を設立し、年3回の会議を開催した。また、2つのクラブ運営団体が地域スポーツクラブの受け皿として設立し、6部活動が地域移行した。令和8年度から休日の部活動の完全移行を目指し、運営団体や指導者の確保に努める。									
【事業の実績値等】									
		目標値			実績				
	地域移行部活動数	14			6				

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費		
大事業	001	スポーツ振興事業							決算書 P. 233		
中事業	01	スポーツ大会運営事業							所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初				決算額			不用額			
		18,473 千円			18,244 千円			229 千円			
前年度		19,426 千円			18,289 千円			1,137 千円			
主な 特定 財源	県支出金	日本スポーツマスターズ2023福井大会運営事業費補助金							400 千円		
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金							5,000 千円		
	諸収入	丸岡城下ウォークラリー参加料							6 千円		
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額			0 千円			
【事業の目的】 誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、生涯スポーツの普及推進を図る。また、市民相互の親睦と融和を図ることにより市民の生涯にわたるスポーツライフの実現を目指す。											
【事業の概要】 坂井市古城マラソン大会 参加者数 2,083人 11月5日(日) 坂井市民スポーツ祭 参加者数 3,245人 10月9日(月・祝) スポーツフェスタ、競技別大会 その他大会開催、補助(古城カップサッカー大会補助等) ○報償費 古城マラソン文字フォント作成謝礼 50 千円 ○需用費 202 千円 消費品費(大会・行事用消耗品費) 12 千円 食糧費(行事等賄) 10 千円 賄材料費(その他賄材料費) 180 千円 ○委託料 5,653 千円 看板製作業務 353 千円 スポーツ大会委託料 5,300 千円 ・坂井市古城マラソン大会 3,000 千円 ・坂井市民スポーツ祭 2,300 千円 ○負担金(ふくい桜マラソン実行委員会負担金) 12,000 千円 【負担割合】県50% 福井市40% 坂井市10% ○補助金 339 千円 坂井市古城カップサッカー大会補助金 239 千円 坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業費補助金 100 千円											
【事業の成果等】 各種大会の開催により、スポーツ活動の機会を設けスポーツ振興に寄与した。また、古城マラソンや市民スポーツ祭はコロナ禍の落ち着きもあり前年より参加者が増えている。											
【事業の実績値等】											
				R5実績				R4実績			
古城マラソン参加者数				2,083				1,755			

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費		
大事業	001	スポーツ振興事業							決算書 P. 233		
中事業	02	ワールドマスターズゲームズ支援事業							所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初,補9				決算額			不用額			
		15,919 千円			15,919 千円			0 千円			
前年度		10,000 千円			10,000 千円			0 千円			
主な 特定 財源	県支出金	スポーツまちづくり推進事業補助金							5,000 千円		
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金							8,000 千円		
	繰入金	地方創生応援基金繰入金							1,500 千円		
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額			0 千円			
【事業の目的】 世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2027関西」のオープン競技として、坂井市で「ディスクゴルフ競技会」を開催することにより、インバウンドの獲得とシティセールスを行う。											
【事業の概要】 ○負担金 ワールドマスターズゲームズ2021関西 15,919 千円 坂井市実行委員会負担金 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、当初開催予定であった2021年5月から2年延期し、2023年5月に開催した。											
【事業の成果等】 令和5年5月12日から14日にかけて、坂井市海浜自然公園においてフレンドシップ大会を3部門開催し、15日から19日にかけては、福井カントリークラブにてプロ大会を開催した。各会場では市名産品の振る舞いや、アンテナショップの土産など販売し、国内外の参加者に坂井市をPRした。 また、大会終了後の20日には、選手や同伴者約60名が三国祭りの山車曳きを体験し、非常に好評を得ることができ、再来を望む声も多く聞かれるなど、国内外に向け坂井市をPRできた。											
【事業の実績値等】											
				人数				国数			
大会参加者				151人				10カ国			

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費	
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 233		
中事業	06	スポーツ振興事業						所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初,補2,補6	決算額			不用額					
	101,040千円	98,236千円			2,804千円					
前年度	99,151千円	96,890千円			2,261千円					
主な 特定 財源					千円 千円 千円					
予算流用(増減)額		0千円			予備費充用額 0千円					
【事業の目的】 全国大会に出場する選手・監督に対し、激励金を支給するとともに、坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体の活動を支援することにより、本市競技スポーツの振興を図る。										
【事業の概要】										
○報償費					3,561千円					
		協力者謝礼(ドリームベースボール)			35千円					
		記念品等(ドリームベースボール)			150千円					
		全国スポーツ大会出場激励金			3,376千円					
		・国体			35名					
		・全国高等学校総合体育大会			60名					
		・国際大会(世界選手権)			2名					
		・その他全国大会			331名					
		計			430名(100大会)					
○旅費		第102回全国高校サッカー選手権			42千円					
○需用費					343千円					
		消耗品費			81千円					
		食糧費(ドリームベースボール)			262千円					
○賃借料		車両借上料			63千円					
○負担金					1204千円					
		スポーツ施設協会負担金			4千円					
		坂井しおかぜゼロカンマラソン負担金			1,200千円					
○補助金					93,023千円					
		坂井市スポーツ協会運営補助金			87,223千円					
		坂井市スポーツ少年団運営補助金			3,800千円					
		地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金			2,000千円					
【事業の成果等】 全国大会出場の選手らに対し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。補助金交付については今後も効率的な団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。										
【事業の実績値等】										
			R5年度			R4年度				
		激励金支給者	430人			396人				

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費	
大事業	001	体育施設管理事業						決算書 P. 235		
中事業	01	体育施設管理事業						所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初,補2	決算額			不用額					
	292,553千円	289,584千円			2,969千円					
前年度	299,911千円	299,154千円			757千円					
主な 特定 財源	使用料	学校体育施設使用料			3,746千円					
	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			41,000千円					
	諸収入	スポーツ振興くじ助成金			7,996千円					
予算流用(増減)額		0千円			予備費充用額 0千円					
【事業の目的】 安全で快適な体育施設の維持管理と利用者のニーズに応じた運営を行い、スポーツ活動の振興および施設の利用促進を図る。										
【事業の概要】										
○旅費		特別旅費			64千円					
○需用費		修繕料(三国運動公園野球場ラバーシート修繕)			99千円					
○役務費		火災保険料(公有建物共済分担金)			976千円					
○委託料					195,621千円					
		春江体育館耐震改修工事設計業務			8,593千円					
		看板製作委託			99千円					
		イベントチラシデザイン作成委託			15千円					
		学校開放事業等委託料			6,500千円					
		坂井市体育施設指定管理委託料			140,000千円					
		【指定管理者】 (公財)坂井市スポーツ協会								
		【指定管理期間】 平成31年4月1日～令和6年3月31日								
		坂井市屋内温水プール・フィットネス			40,100千円					
		センター指定管理委託料								
		【指定管理者】 アクアスポーツ(株)								
		【指定管理期間】 平成31年4月1日～令和6年3月31日								
		丸岡スポーツランド有料広告看板製作業務			314千円					
○賃借料		土地借上料(体育施設用地)			27,981千円					
○工事請負費					63,206千円					
		丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター			13,640千円					
		人工芝張替工事								
		三国運動公園屋内温水プール			513千円					
		躯体コンクリート修繕工事								
		丸岡フィットネスセンター給湯設備改修工事			4,939千円					
		丸岡スポーツランドスケートパーク整備工事			32,010千円					
		丸岡フィットネスセンター受電設備改修工事			6,875千円					
		三国運動公園第2駐車場側溝整備工事			2,805千円					
		三国運動公園施設改修工事			264千円					
		三国運動公園第1駐車場法面改良工事			1,265千円					
		丸岡運動公園法面保護工事			895千円					

【次頁へ】...

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費	
大事業	001	体育施設管理事業					決算書 P. 235			
中事業	01	体育施設管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		

…【前頁より】

○負担金		1,617 千円
	指定管理者修繕負担金	1,597 千円
	・三国体育館第一競技場ステージ 上部コンクリート修繕	990 千円
	・三国体育館給水管修繕	607 千円
	B&G地域海洋センター連絡協議会負担金	20 千円
○補償金	体育施設周辺補償金	20 千円

【事業の成果等】

各体育施設について、改修や機能向上工事など、利用者のニーズに応じた整備を行い、利用者満足度の向上に努めた。耐震改修が未着手であった春江体育館については、本年度は耐震改修工事の設計業務を実施するなど、坂井市スポーツ施設マネジメント計画に沿って計画的な施設改修を進めることができた。

【事業の実績値等】

	目標値	実績
体育館耐震改修未着手	0	1

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費	
大事業	001	文化振興事業					決算書 P. 219			
中事業	01	文化振興事業					所管 部局	教育委員会事務局 文化課		

予算額	当初,補2	決算額	不用額
	4,985 千円	4,779 千円	206 千円
前年度	602 千円	334 千円	268 千円
主な 特定 財源	諸収入	文化体験学習参加負担金	15 千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

文化芸術分野の全国大会以上の大会に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し本市の文化芸術の向上を図る。また、子どもたちが文化に触れる機会を増やし、文化芸術の振興を図る。

【事業の概要】

○報償費		318 千円
	協力者謝礼	45 千円
	委員謝礼	73 千円
	全国大会等出場激励金	200 千円
○需用費		66 千円
	消耗品費(事務用、事業用)	62 千円
	食糧費(会議用お茶)	4 千円
○委託料	文化芸術体験事業委託料	4,200 千円
○使用料	有料道路通行料、入場料、駐車場使用料	52 千円
○賃借料	車両借上料	143 千円
	(文化未来会議視察研修:京都府伊根市)	

【事業の成果等】

全国大会出場40人(個人)に対して激励金を贈り、大会での活躍を激励した。また、市内小中学校を対象としたスクールコンサートを実施し、子どもたちの豊かな創造性や感性の育成を図った。子ども文化体験教室では、日本の伝統文化を体験する機会を設け、伝統文化への関心を高めた。

【事業の実績値等】

	R5	R4
全国大会等出場者数	40人	24人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業			決算書		P. 221		
中事業	06	文化団体補助事業			所管	教育委員会事務局	部局	文化課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		130,268千円	126,598千円	3,670千円					
前年度		125,425千円	116,171千円	9,254千円					
主な	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			3,000千円				
特定					千円				
財源					千円				
予算	流用(増減)額	0千円			予備費	充用額	0千円		

【事業の目的】

地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、(公財)丸岡文化財団および(公財)坂井市文化振興事業団、各種文化団体で組織する坂井市文化協会が実施する文化活動事業を支援する。

【事業の概要】

○補助金	126,598千円
丸岡文化財団運営補助金	57,052千円
坂井市文化協会事業補助金	2,600千円
坂井市文化振興事業団運営補助金	66,946千円

【事業の成果等】

丸岡文化財団主催の一筆啓上賞は31回目となり、市を代表する事業として定着している。また、第19回まるおか子供歌舞伎事業は、磯部小学校体育館で開催された。坂井市文化協会は、ふれあいコンサートや総合美術展、文化講演会などを開催し、様々な文化団体が文化活動に参加できる企画運営を担い、市の文化振興に大いに貢献している。坂井市文化振興事業団は、市民の文化意識の向上や次世代育成に対して大きく貢献している。

【事業の実績値等】

	R5	R4
一筆啓上応募数	34,067通	39,704通
文化協会会員数	1,585人	1,643人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業			決算書		P. 221		
中事業	11	文化活動支援事業			所管	教育委員会事務局	部局	文化課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		20,200千円	20,113千円	87千円					
前年度		22,200千円	17,815千円	4,385千円					
主な	繰入金	まちづくり整備基金繰入金			18,000千円				
特定					千円				
財源					千円				
予算	流用(増減)額	0千円			予備費	充用額	0千円		

【事業の目的】

優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。

【事業の概要】

○委託料	20,113千円
文化祭業務委託料(坂井市民文化祭実行委員会)	5,000千円
公演業務委託料(坂井市文化振興事業団:22事業)	14,000千円
市民文化創造企画支援事業委託料(坂井市文化振興事業団)	1,113千円

【事業の成果等】

文化祭事業は実行委員会に委託し、市内4地区の会場それぞれで芸能・展示発表を行った。今後も、市内の文化ホール等を有効に活用しながら、市民の文化活動の活性化が図られるよう事業に取り組んでいく。

公演事業では、音楽・古典芸能など様々なジャンルのアーティストによる公演や地元出身の音楽家によるコンクールを開催し、市民参加・育成型事業にも取り組んでいる。

市民グループに対する支援事業を行い、活動の推進を図った。

【事業の実績値等】

	R5	R4
文化祭来場者数	9,064人	10,562人
文化祭出演・出展者数	7,649人	7,303人
公演事業入場者数	4,129人	4,964人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業					決算書 P. 221		
中事業	21	一筆啓上手紙の館管理運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 文化課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		14,183 千円	12,822 千円	1,361 千円					
前年度		14,148 千円	11,411 千円	2,737 千円					
主な 特定 財源				千円 千円 千円					
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円					
【事業の目的】 一筆啓上賞の作品をはじめとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光振興の推進を図る。									
【事業の概要】									
○報償費	運営審議会委員謝礼(3名)				14 千円				
○役務費	手紙の館火災保険料				149 千円				
○委託料	事業運営委託料(丸岡文化財団)				12,659 千円				
【事業の成果等】 丸岡文化財団に「手紙の館」の事業運営を委託し、一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展等を実施している。施設の運営については、引き続き運営審議会で検討・助言等を行いながら、丸岡城と連携した地域のにぎわい創出を図っていく。									
【事業の実績値等】									
		目標値	実績						
手紙の館入館者数		22,000人	34,516人						
(うち共通入場券入館者)		(16,500人)	(28,184人)						

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業					決算書 P. 221		
中事業	02	文化の森・みくに市民センター管理運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 文化課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		82,296 千円	80,659 千円	1,637 千円					
前年度		100,280 千円	97,816 千円	2,464 千円					
主な 特定 財源	諸収入	福井県市町振興協会交付金					11,612 千円		
				千円 千円					
予算流用(増減)額		445 千円	予備費充用額	0 千円					
【事業の目的】 利用者の利便性の向上と安全確保を図るため、文化施設の適切な維持管理を行う。									
【事業の概要】									
【指定管理者】公益財団法人 坂井市文化振興事業団									
【指定期間】平成31年4月1日から令和6年3月31日									
◆文化の森・みくに市民センター管理運営事業				80,519 千円					
○需用費	施設等修繕料				164 千円				
○役務費					430 千円				
	登録手数料				143 千円				
	火災保険料				215 千円				
	展示・収蔵資料損害保険料				72 千円				
○委託料	指定管理者委託料(市文化振興事業団)				75,500 千円				
○賃借料	文化の森敷地借上料(18,875㎡)				3,820 千円				
○備品購入費	自動体外式除細動器(AED)購入				605 千円				
◆省エネ対策事業				140 千円					
○使用料	デマンド監視システム使用料				140 千円				
【事業の成果等】 坂井市文化振興事業団に指定管理者として委託し、ハートピア春江、みくに市民センターの管理運営を行った。市民の文化芸術活動の拠点として、両館の特性を活かしながら、市民の文化意識の向上を目指した施設の運営に取り組んでいく。									
【事業の実績値等】									
		目標値	実績						
ハートピア春江利用者数		85,800人	62,445人						
みくに市民センター利用者数		16,500人	12,087人						

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	001	文化財保護審議会運営事業					決算書 P. 223		
中事業	01	文化財保護審議会運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 文化課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		405千円	398千円	7千円					
前年度		289千円	229千円	60千円					
主な 特定 財源				千円 千円 千円					
予算流用(増減)額		6千円	予備費充用額	0千円					
【事業の目的】 坂井市教育委員会の諮問機関で、文化財の保存および活用に関する重要事項について調査審議し、建議する。									
【事業の概要】									
○報酬	文化財保護審議会委員報酬(9名)				207千円				
○報償費	協力者謝礼(文化財保護審議会視察土産)				5千円				
○旅費	文化財保護審議会委員費用弁償				59千円				
○需用費	食糧費(会議用お茶)				3千円				
○使用料及び賃借料					124千円				
	車両借上料				112千円				
	有料道路通行料				7千円				
	入場料				5千円				
【事業の成果等】 以前より調査を進めてきた絵画2点を市指定文化財とした。また、現在未指定の文化財について、計画的に進めていくとともに候補の審議を引き続き行う。									
【事業の実績値等】									
		R5	R4						
処理議案数		4議案	4議案						

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業					決算書 P. 223		
中事業	01	文化財保存管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 文化課	
予算額	当初	決算額			不用額				
		19,910千円	18,319千円	1,591千円					
前年度		15,979千円	12,069千円	3,910千円					
主な 特定 財源	国庫支出金	文化財管理事業費補助金			117千円				
	諸収入	文化体験学習参加負担金			15千円				
					千円				
予算流用(増減)額		16千円	予備費充用額	0千円					
【事業の目的】 坂井市域に存在する国・県・市の指定を受けた文化財の保存・管理のための必要な措置を講じる。また、広く市民への公開や活用を通して文化財の保存と活用の意識向上を図り、郷土歴史、文化の振興に貢献する。									
【事業の概要】									
○報償費					632千円				
	有識者謝礼(市内指定文化財調査協力謝礼)								
	文化財管理奨励金								
○旅費					154千円				
	費用弁償				18千円				
	特別旅費				136千円				
○需用費					1,487千円				
	消耗品費(体験学習材料費・広報用消耗品 外)				129千円				
	光熱水費				702千円				
	(旧安島幼保園、出世山古墳公園電気料・上下水道料)								
	修繕料(出世山古墳公園灯修繕 外)				656千円				
○役務費					204千円				
	通信運搬費				49千円				
	手数料(刀剣類登録手数料、カモシカ処理手数料3体)				95千円				
	保険料等(火災保険、展示・資料損害保険)				60千円				
○委託料					11,041千円				
	警備保障委託料				651千円				
	運搬業務委託料				5,939千円				
	文化財管理委託料				3,478千円				
	燻蒸委託料				770千円				
	その他委託料(消防設備保守点検、清掃、写真撮影)				203千円				
○使用料及び賃借料					234千円				
	土地借上料				146千円				
	その他(有料道路通行、機材借上、ソフトウェア使用)				88千円				

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大事業	051	文化財保存事業					決算書 P. 223			
中事業	01	文化財保存管理事業					所管 部局	教育委員会事務局 文化課		
…【前頁より】										
○備品購入費（旧安島幼保園カーテン、丸岡城AED） 524 千円										
○負担金 111 千円 （会議・研修参加、大会参加、全史協、北信越・県史協、全民連）										
○補助金 3,932 千円 （無形文化財保存活用事業、文化財保存事業）										
市指定無形文化財保存活動事業費補助金(6件) 660 千円										
指定文化財保存事業費補助金(2件) 3,272 千円										
【事業の成果等】										
市内で埋蔵遺物等の保管施設として使用していた旧三国北幼稚園の老朽化に伴い、令和5年度より旧安島幼保園を文化財保管施設として活用し、各保管施設から埋蔵遺物等を移動した。出世山古墳公園については、3か年に分け実施していた公園灯整備が終了し、夜間の安全確保に努めた。また、出世山古墳公園の緑地維持等も含め、市内文化財の維持管理や継承に努め、今後も文化財保存を計画的に行っていく。										
【事業の実績値等】										
		目標値		実績						
文化財補助金支出件数		7件		8件						

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大事業	051	文化財保存事業					決算書 P. 225			
中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業					所管 部局	教育委員会事務局 文化課		
予算額		当初,補9		決算額		不用額				
		5,192 千円		4,738 千円		454 千円				
前年度		16,546 千円		13,337 千円		3,209 千円				
主な 特定 財源	国庫支出金		埋蔵文化財調査費補助金					1,000 千円		
予算流用(増減)額		△45 千円		予備費充用額		0 千円				
【事業の目的】										
埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開・活用し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。										
【事業の概要】										
○報酬		会計年度任用職員報酬		346 千円						
○給料		会計年度任用職員給		2,005 千円						
○職員手当等		通勤手当(会計年度任用職員)		85 千円						
		期末手当(会計年度任用職員)		231 千円						
○報償費		委員会委員謝礼(4名)		166 千円						
		現地指導謝礼		140 千円						
○旅費		費用弁償(会計年度任用職員)		16 千円						
○需用費		消耗品費(発掘作業用具)		34 千円						
		食糧費(会議用お茶)		2 千円						
○委託料		試掘調査掘削委託料		1,642 千円						
○備品購入費		発掘機器等備品購入費		71 千円						
【事業の成果等】										
今年度の埋蔵文化財包蔵地内での工事の届出は178件あり、そのうち29件は遺跡への影響が懸念されることから、試掘調査、工事立会に対応した。今後も継続して、関係機関との円滑な調整を図るとともに、文化財保護に対する認識を高めていく。また、六呂瀬山古墳群調査整備については、過去の調査結果を含めた総括的な報告書を作成しており令和6年度完成予定。										
【事業の実績値等】										
		R5		R4						
発掘届出件数		178件		161件						

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業			決算書		P. 225		
中事業	21	丸岡城関連施設管理運営事業			所管	教育委員会事務局		文化課	
予算額	当初	決算額		不用額					
		1,609 千円	1,552 千円	57 千円					
前年度		2,311 千円	2,141 千円	170 千円					
主な 特定 財源				千円					
予算流用(増減)額		△445 千円		予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】 丸岡城関連施設の運営管理を指定管理者に委託し、円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城の観光の充実と地域の文化振興を図る。									
【事業の概要】 【指定管理者】 公益財団法人 丸岡文化財団 【指定期間】 平成31年4月1日から令和6年3月31日 ○役員費 189 千円 丸岡城関連施設火災保険料 160 千円 丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 29 千円 ○賃借料 丸岡城周辺土地借上料 1,363 千円									
【事業の成果等】 (公財)丸岡文化財団に指定管理者として委託し、丸岡城周辺の一体的な管理運営を行った。また、丸岡城の歴史的価値を広めるため、観光情報の発信と広報宣伝活動に努め、観光面・文化面での賑わい創出を図った。入場者数は、目標値、前年実績は超えており、少しずつコロナ流行前の数字に近づいている。									
【事業の実績値等】									
		目標値	R5実績	R4実績					
	丸岡城入場者数	110,000人	114,600人	108,875人					

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業			決算書		P. 227		
中事業	26	文化財保存活用事業			所管	教育委員会事務局		文化課	
予算額	当初	決算額		不用額					
		1,665 千円	1,458 千円	207 千円					
前年度		千円	千円	0 千円					
主な 特定 財源				千円					
予算流用(増減)額		△22 千円		予備費充用額		0 千円			
【事業の目的】 文化財保存活用地域計画に基づき、地域全体で文化財の価値や魅力を高めながら、保存、活用および継承を推進する。									
【事業の概要】 ○報酬 197 千円 協力者謝礼 99 千円 委員謝礼 88 千円 有識者謝礼 10 千円 ○需用費 217 千円 食糧費(意見交換会お茶) 1 千円 印刷製本費(パンフレット等印刷) 216 千円 ○委託料 制作業務委託料(文化財管理データ作成) 1,044 千円									
【事業の成果等】 文化財の種類や説明等を掲載したパンフレットや六呂瀬山古墳群の個別パンフレットを作成し普及啓発に努めた。また、文化財保存活用地域計画推進協議会を発足し進捗管理を行った。									

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費	
大事業	001	丸岡城周辺整備基金					決算書	P. 241		
中事業	01	丸岡城周辺整備基金					所管 部局	教育委員会事務局 文化課		
予算額	当初				決算額	不用額				
		4千円			4千円	0千円				
前年度		4千円			4千円	0千円				
主な 特定 財源	財産収入	城周辺整備基金利子			4千円					
					千円					
					千円					
予算流用(増減)額		0千円			予備費充用額	0千円				
【事業の目的】 丸岡城周辺の整備および丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。										
【事業の概要】 丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。										
○積立金 城周辺整備基金積立金(預金利息) 4千円										
(参考)丸岡城周辺整備基金の状況 (単位:千円)										
令和4年度末 現在高 ①		令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高①-②+③					
		取崩額 ②	積立額 ③							
183,601		0	4	183,605						
【事業の成果等】 預金利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。今後も目的に応じた基金の活用に努める。										

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大事業	051	文化財保存事業					決算書	P. 225		
中事業	16	丸岡城国宝化推進事業					所管 部局	教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室		
予算額	当初,補9				決算額	不用額				
		13,702千円			11,705千円	1,997千円				
前年度		9,482千円			8,061千円	1,421千円				
主な 特定 財源	県支出金	指定等文化財公開支援事業補助金			105千円					
	繰入金	寄附市民参画基金繰入金			2,997千円					
					千円					
予算流用(増減)額		△157千円			予備費充用額	0千円				
【事業の目的】 丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにするための調査研究を行う。また収集した資料などを市民に公開し、丸岡城に対する認識を高めていく。										
【事業の概要】										
◆丸岡城国宝化推進事業 11,165千円										
○給料 会計年度任用職員給与 3,724千円										
○職員手当等 会計年度任用職員 通勤、期末手当 727千円										
○報償費 講師謝礼、委員謝礼 442千円										
○旅費 55千円										
○需用費 1,879千円										
○消耗品費(事務用消耗品費) 287千円										
○燃料費(LPガス) 11千円										
○食糧費 1千円										
○印刷製本費(資料集等印刷) 1,155千円										
○光熱水費(電気料、上下水道料) 410千円										
○修繕料 15千円										
○役務費 電話料、火災保険料 105千円										
○委託料 地図資料データ化業務委託料 外 3,063千円										
○使用料及び賃借料 コピー機リース料、機材借上料 170千円										
○補助金 丸岡城天守を国宝にする市民の会事業補助金 1,000千円										
◆調査研究アドバイザー事業 540千円										
○報償費 指導謝礼、協力者謝礼 540千円										
【事業の成果等】 市が購入した古絵図の調査研究を進め、市民向けの調査研究報告会を開催した。丸岡城下町再生古地図を作成しアプリ運用により、手軽に城下町散策ができる環境を整備した。										

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費	
大事業	051	文化施設管理運営事業					決算書 P. 221			
中事業	26	ONOメモリアル管理運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 龍翔博物館		
予算額	当初	決算額			不用額					
		9,191 千円			7,764 千円			1,427 千円		
前年度		12,203 千円			11,660 千円			543 千円		
主な 特定 財源								千円		
								千円		
								千円		
予算流用(増減)額		0 千円			予備費充用額			0 千円		
【事業の目的】 故小野忠弘の住居兼アトリエの保存とその活用を図るとともに、市民の現代美術に関する興味関心を高め、美術文化の創造に寄与する。										
【事業の概要】										
○報償費	講師謝礼、指導謝礼、賞品、協力者謝礼(報償物品)				225 千円					
○旅費	特別旅費				27 千円					
○需用費					829 千円					
	消耗品費(保健衛生用・施設管理用消耗品等)				242 千円					
	食糧費(来客用賄)				2 千円					
	印刷製本費(ポスター・パンフレット等印刷費)				182 千円					
	光熱水費(電気料・水道料)				320 千円					
	修繕料(施設等修繕料)				83 千円					
○役務費					81 千円					
	通信運搬費(電話料)				69 千円					
	火災保険料				12 千円					
○委託料					6,602 千円					
	警備保障委託料				172 千円					
	施設管理委託料				738 千円					
	樹木等管理委託料				361 千円					
	清掃委託料				347 千円					
	イベント事業委託料				500 千円					
	除草委託料				829 千円					
	運搬業務委託料				1,983 千円					
	デザイン制作委託料				33 千円					
	廃棄物処理業務委託料				33 千円					
	ホームページ保守管理委託料				145 千円					
	展示制作委託料				1,461 千円					
【次頁へ】…										

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費	
大事業	051	文化施設管理運営事業					決算書 P. 221			
中事業	26	ONOメモリアル管理運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 龍翔博物館		
…【前頁より】										
【事業の成果等】 坂井市出身のアートディレクター戸田正寿氏による企画展「エッシャー←手紙→戸田正寿展」を開催した。多くの入館者が、龍翔博物館4階「エッシャーに捧ぐ」コーナーの写真パネルや、ダンス・チェロ演奏などのパフォーマンス映像で構成された展示を観覧した。 また、演劇ワークショップ「いま、ここを切りとる」を開催し、参加者に演劇ゲームとミュージアムならではの寸劇づくりを体験してもらった。										
<ul style="list-style-type: none"> ・第16回「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」 出品数:1,891点 会場:坂井市龍翔博物館 日程:9月23日～10月9日 展示:入賞作品36点 ・企画展「エッシャー←手紙→戸田正寿展」 会場:ONOメモリアル 日程:9月1日～11月30日、3月1日～31日 入館者数:420名 ・演劇ワークショップ「いま、ここを切りとる」 会場:ONOメモリアル 日程:3月9日 参加者数:11名 										
【事業の実績値等】										
ONOメモリアル入館者数										
		R5			R4					
入館者数		632 人			324 人					

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大事業	101	文化施設管理運営事業					決算書 P. 227			
中事業	01	龍翔博物館管理運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 龍翔博物館		
予算額	当初	補5	補9	決算額			不用額			
				71,500	千円	62,730	千円	8,770	千円	
前年度				63,325	千円	57,789	千円	5,536	千円	
主な 特定 財源	使用料 国庫支出金 繰入金	龍翔博物館入館料 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 まちづくり整備基金繰入金					4,148 1,400 1,000 千円			
予算 流用(増減)額						0	千円	予備費 充用額	0	千円

【事業の目的】
市の歴史や文化についての関心を高め、教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、市民のシビックプライドの醸成につなげる。また、歴史・文化遺産を市民共有の財産として適正に収集保管し、調査研究を進めるとともに、展示および普及事業等を通じて活用を図っていく。

【事業の概要】

◆龍翔博物館管理運営事業	47,396	千円	
○給料	会計年度任用職員給	10,369	千円
○職員手当等	会計年度任用職員 通勤、時間外勤務手当等	2,103	千円
○報償費	委員謝礼	120	千円
○需用費		14,355	千円
	消耗品費(事務用、保健衛生用等)	269	千円
	燃料費(ガソリン、混合油)	135	千円
	食糧費(来客用賄)	14	千円
	光熱水費(電気料、水道料)	13,828	千円
	修繕料(車検修繕料、施設等修繕料等)	109	千円
○役務費		772	千円
	通信運搬費(郵便料、電話料)	277	千円
	手数料(車検・特殊建築物定期点検他)	408	千円
	保険料(火災、自動車)	87	千円
○委託料		18,510	千円
	施設管理委託料(空調保守点検・警備保障等)	13,886	千円
	樹木等管理・除草委託料	2,482	千円
	ホームページ保守管理、イベント事業委託料	2,142	千円
○使用料及び賃借料	電算機器借上料、コピー機リース料等	753	千円
○備品購入費	施設用備品購入費	398	千円
○負担金	県博物館協議会、みなとの博物館ネットワーク	9	千円
○公課費	自動車重量税	7	千円
◆龍翔博物館資料収集・保存事業	2,184	千円	
○報償費	協力者謝礼(報償物品)	7	千円

【次頁へ】...

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費	
大事業	101	文化施設管理運営事業					決算書 P. 227			
中事業	01	龍翔博物館管理運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 龍翔博物館		

…【前頁より】

○需用費		901	千円
	消耗品費(資料運搬・保存用消耗品費等)	802	千円
	修繕料(備品等修繕料)	99	千円
○役務費	展示・収蔵資料損害保険料	176	千円
○委託料	害虫駆除・燻蒸委託料	820	千円
○備品購入費	展示用備品購入費	280	千円
◆龍翔博物館調査・研究事業	509	千円	
○報償費	指導謝礼、協力者謝礼(報償物品)	481	千円
○需用費	書籍購入費、調査等賄	13	千円
○備品購入費	龍翔博物館用図書購入費	15	千円
◆龍翔博物館展示および教育普及事業	12,641	千円	
○報酬	会計年度任用職員報酬	2,626	千円
○職員手当等		289	千円
○報償費	講師謝礼、指導謝礼、協力者謝礼(報償物品)	507	千円
○需用費		1,938	千円
	消耗品費(事務用・事務用OA機器用等、看板代)	1,148	千円
	印刷製本費(ポスター・パンフレット等印刷費)	790	千円
○役務費	手数料(登録手数料、入館者斡旋手数料)	537	千円
○委託料	デザイン制作・管理運営・展示制作委託料	4,689	千円
○賃借料	山車借上料	10	千円
○備品購入費	展示用備品購入費	2,045	千円

【事業の成果等】

龍翔博物館は、2年半の改修整備を終え、6月3日にリニューアルオープンした。展示内容を一新し、市全域を対象にした歴史や文化を分かりやすく紹介している。
また、特別展・企画展・ミニ企画展を開催するとともに、サポーターズクラブ「りゅうちい's」を結成し、教育普及事業として各種イベント・ワークショップを催すことで、利用者の増加を図った。

- ・リニューアル記念特別展「坂井の縄文土器～ひもとく文様のミステリー～」
(11月3日～1月8日)
- ・ミニ企画展示「龍翔小学校事始め」 (11月10日～12月28日)
- ・ミニ企画展示「HAPPY 龍 YEAR 龍はどこだっ！」 (1月4日～1月30日)

【事業の実績値等】

	目標値(年間)	実績(6月～3月)
入館者数(人)	20,000	17,979

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費		
大事業	001	図書館管理運営事業						決算書 P. 229			
中事業	01	図書館管理運営事業						所管 部局	教育委員会事務局 図書館		
予算額	当初,補2,補6,補9	決算額				不用額					
		144,044 千円				140,409 千円				3,635 千円	
前年度		241,373 千円				238,204 千円				3,169 千円	
主な	繰入金	まちづくり整備基金繰入金								25,000 千円	
特定	諸収入	自動販売機手数料								220 千円	
財源	諸収入	図書カード再交付・コピー代・図書弁償代他								189 千円	
予算	流用(増減)額	157 千円				予備費充用額					0 千円
【事業の目的】											
地域の情報拠点として4つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。											
【事業の概要】											
○報酬	図書館協議会委員、会計年度任用職員									1,067 千円	
○給料	会計年度任用職員給(フルタイム)									50,159 千円	
○職員手当等										11,338 千円	
○報償費	講師謝礼、協力者謝礼									437 千円	
○費用弁償	会計年度任用職員報酬(パートタイム)									140 千円	
○需用費										24,772 千円	
	消耗品費、書籍購入費(ブックスタート事業)他									9,371 千円	
	光熱水費									11,041 千円	
	修繕料									4,360 千円	
○役務費										1,217 千円	
	通信運搬費									886 千円	
	自動車保険料									141 千円	
	火災保険料									109 千円	
	手数料									81 千円	
○委託料										14,907 千円	
	図書館管理システム保守									3,602 千円	
	清掃業務委託									2,440 千円	
	警備保障他									8,865 千円	
○使用料	図書管理システム、図書データ使用料他									9,423 千円	
○賃借料	公用車、防犯カメラリース料他									773 千円	
○備品購入費										26,111 千円	
	図書購入費									24,000 千円	
	公用車購入費									1,653 千円	
	施設用備品購入費									458 千円	
【次頁へ】…											

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費	
大事業	001	図書館管理運営事業						決算書 P. 229		
中事業	01	図書館管理運営事業						所管 部局	教育委員会事務局 図書館	
…【前頁より】										
○負担金		県図書館協会費、日本図書館協会費								39 千円
○公課費		自動車重量税								26 千円
【利用状況】										
4館合計										
	項目	令和5年度				令和4年度				
	来館者数(人)	386,095				341,146				
	貸出者数(人)	188,944				178,770				
	貸出冊数(冊)	788,839				749,522				
(各館)										
	項目	年度	三国	丸岡	春江	坂井				
	来館者数(人)	5年	90,396	75,458	147,787	72,454				
		4年	38,614	80,930	148,015	73,587				
	貸出者数(人)	5年	35,511	33,868	80,886	38,679				
		4年	20,496	36,678	80,154	41,442				
	貸出冊数(冊)	5年	145,594	146,143	294,881	202,221				
		4年	79,289	154,298	297,706	218,229				
【子どもの読書活動推進事業】										
	項目	令和5年度				令和4年度				
	子どもの読書活動推進事業原画展・講演会(人)	929				352				
	ブックスタート(人)	513				549				
	おはなし会(人)	1,814				1,020				
【事業の成果等】										
市民が親しみを持てる図書館を目指し、くらしや趣味等に役立つ資料や情報の収集、整備保存に努めるとともに、市内4館のネットワークや県内外の図書館と相互貸借を行った。										
三国図書館については、令和5年3月、改修工事による長期休館から再開したため、来館者数、貸出人数、貸出冊数ともに例年並みに戻ったが、12月のシステム更新に伴う長期休館もあり、他館は減少した。子どもの読書活動推進事業では原画展を開催。おはなし会においても、開催数を増やし、参加者も大幅に増加した。施設整備面では、各館補修や修繕等を行い、安全性と利便性の向上に努めた。										
【事業の実績値等】										
		目標値				実績				
	来館者数	388,000人				386,095人				

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費	
大事業	001	図書館管理運営事業					決算書 P. 231			
中事業	02	図書振興整備基金事業					所管 部局	教育委員会事務局 図書館		
予算額	当初	708千円			決算額			634千円		
					不用額			74千円		
前年度		510千円			210千円			300千円		
主な 特定 財源	繰入金	図書振興整備基金繰入金					634千円			
							千円			
							千円			
予算	流用(増減)額	0千円			予備費	充用額	0千円			

【事業の目的】

図書館振興整備基金を活用し、市立図書館の施設の整備および機能の充実を図る。

【事業の概要】

坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図る。
古谷綱武・吉沢久子文庫の資料の収集整理、保存を行うとともに、顕彰に努める。

○報償費	講師謝礼	300千円
○需用費		334千円
	資料運搬・保存用消耗品費他	109千円
	図書整備消耗品費	91千円
	印刷製本費	10千円
	講演会看板・ポスター等	124千円

《行事の開催》

- ・古谷・吉沢文庫文庫記念講演会 12月2日(土)
演題 「おじさんの哀しみ」
講師 飛鳥圭介氏(エッセイスト)
場所 ハートピア春江小ホール 参加者数 105名

【事業の成果等】

吉沢久子氏逝去後、初めての講演会を開催し、105名が来場した。講演後には、文庫室にも多くの人が訪れた。

古谷・吉沢文庫を読む会を毎月開催し、研究活動の一環として、文庫通信を年3回発行した。また、文庫室の貴重な遺品や資料について虫駆除作業を行い、安全に保管維持出来るよう努めた。

【事業の実績値等】

	目標値	実績
寄贈資料受入れ冊数	300冊	105冊

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費	
大事業	051	記念文庫等管理運営事業					決算書 P. 231			
中事業	01	記念文庫等管理運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 図書館		
予算額	当初	2,557千円			決算額			2,518千円		
					不用額			39千円		
前年度		1,085千円			961千円			124千円		
主な 特定 財源	諸収入	図書頒布代					32千円			
							千円			
							千円			
予算	流用(増減)額	0千円			予備費	充用額	0千円			

【事業の目的】

中野重治記念文庫および小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。

【事業の概要】

○報償費	講師謝礼	132千円
○旅費	特別旅費	38千円
○需用費	消耗品費、光熱水費等	190千円
○役務費	運搬料	41千円
○委託料		2,106千円
	清掃委託料	160千円
	樹木剪定業務等委託料	1,946千円
○賃借料	防犯カメラリース料	11千円

《行事の開催》

- ・くちなし忌 8月19日(土)
式典、詩の朗読他 場所 中野重治生家跡 参加者数 50名
記念講演 演題 「小熊秀雄の記憶 ～中野重治と北海道～」
講師 村田裕和氏(北海道教育大学旭川校)
場所 たかむく古城ホール 参加者数 147名
- ・小葉田淳記念文庫講演会 11月11日(土)
演題 「家康の時代における坂井一丸岡藩祖・本多成重を中心に～」
講師 角 明浩氏(坂井市龍翔博物館 学芸員)
場所 たかむく古城ホール 参加者数 151名

《見学者数》

・中野重治記念文庫	年間	56名
・小葉田淳記念文庫	年間	16名
・今川節の部屋	年間	7名

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費	
大事業	051	記念文庫等管理運営事業					決算書 P. 231			
中事業	01	記念文庫等管理運営事業					所管 部局	教育委員会事務局 図書館		

…【前頁より】

【事業の成果等】

くちなし忌および記念文庫講演会等、文庫関係にちなんだ講演会を実施し郷土の偉人を顕彰した。

また、各文庫室資料の安全な保管や、遺品と資料の閲覧、研究活動の支援に努めた。

	目標値	実績
講演会参加数	300人	298人

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	19	図書振興整備基金費	
大事業	001	図書振興整備基金					決算書 P. 241			
中事業	01	図書振興整備基金					所管 部局	教育委員会事務局 図書館		

予算額	当初	決算額	不用額	
	1千円	1千円	0千円	
前年度	1千円	1千円	0千円	
主な 特定 財源	財産収入	図書振興整備基金利子	1千円	
			千円	
			千円	
予算流用(増減)額	0千円		予備費充用額	0千円

【事業の目的】

坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図るため、坂井市図書振興整備基金を設置する。

【事業の概要】

坂井市図書振興整備基金の元金に対する利息を基金に積み立てる。

○積立金 図書振興整備基金積立金 126 円

(参考)図書振興整備基金の状況 (単位:千円)

令和4年度末 現在高 ①	令和5年度中増減額		令和5年度末 現在高①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
6,328	634	1	5,695

【事業の成果等】

目的に応じた基金の活用に努める。

令和5年度 坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

坂井市社会教育委員 牧田 進一

はじめに

「邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」ことを理想に掲げ、明治五年八月に「学制」が公布され、我が国の近代教育が開始された。以来、全国各地で多くの小学校が誕生し、平成5年度は坂井市においても7小学校で創立150周年を迎え、記念式典が盛大に開催された。

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字を取って「VUCA」の時代とも言われている。少子化・人口減少、グローバル化の進展、地球規模の課題、格差の固定化と再生産など、様々な社会課題が存在する中、Society 5.0 時代に向けて、教育の果たす役割はますます重要となっている。坂井市教育委員会においても、未来を見据え、様々な教育的課題に向けて真摯に取り組んでこられた。結果、全国トップクラスの教育県・市として、不動の地位を確立された。これまでの不断の努力に心から感謝したい。

教育はすぐさまその成果が出るものばかりでなく、その結果も数値で簡単に把握出来るようなものでもない。むしろ抽象的な事柄が多く、その特性から評価することが難しいと言われている。そのことを踏まえて、令和5年度の坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価したので、以下のように報告する。

【令和5年度 坂井市教育委員会の活動状況について】

1. 教育委員会の会議開催等の状況

月1回の定例会と年2回の臨時会を開催し、39件の附議事項を随時適切に審議され、充分機能を果たしているものと判断できる。

2. 教育長、教育委員会委員の活動状況

年間122の教育関係行事に、教育長をはじめ教育委員会委員が出席され、市の教育全体の発展・推進に深く関わっていることがうかがわれる。指導主事学校訪問(32回)においては、市内の小中学校全てを1回以上訪問し、各校の現状把握と適切な指導に務めた。また、全国大会出場激励会(34回)など執り行われ、大会出場者の士気の高まりに繋がった。これらの活動が、本市教育の全国トップクラスの質の高さ維持にしっかりと繋がっている。

3. 委員会、審議会等の審議状況

学校教育、社会教育、芸術文化、文化財、スポーツと教育全領域にわたりその振興を目的とした会議・協議が適宜適切な内容によって開催されている。

4. 教育委員会関係の許認可の状況

令和5年度は新たに2件が文化財指定に追加され、市内の文化財の数は、国、県も合わせて127件となった。市の貴重な文化財を後世に残していくことは重要であり、引き続きその保存・継承・活用に努めてもらいたい。

【令和5年度 事業別施策の結果報告について】

1. 教育総務課所管事業

(1) 教育委員会運営事業

14回の教育委員会及び1回の総合教育会議により協議・調整が行われ、円滑な教育行政が進められている。

(2) 教育委員会事務局事業

教育行政全般にわたる運営調整が図られていると同時に、教育振興会等への支援を通して、学校教育の振興が図られている。さらに、教育委員会の支援のもと、市内7校で、意義ある学校創立周年記念事業が市民参加のもと行われた。

(3) 小学校管理事業

各小学校の適正な教育環境の維持管理が図られている。市内5校のプールの老朽化によるプール学習への対応も適切に行なわれた。GIGAスクール構想に基づきICT環境は充実したが、教育コンテンツの提供などさらなる環境作りを継続していただきたい。

(4) 小学校施設整備事業

教育環境の整備・改善のため、大規模改造1校と長寿命化改良工事2校、および工事設計業務1校が行われた。今後も学校現場の声を基に、安心でより適切な学習環境の向上をお願いしたい。

(5) 中学校管理事業

各中学校の適正な教育環境の維持管理が図られている。今後も、学校現場の意見を聞きながら、緊急性や必要性の高い内容の事業を進めてほしい。

(6) 教育振興整備基金

教育の振興および教育施設の環境整備に必要な財源に充てるための、教育振興整備基金を設置し、適切に管理されている。

2. 学校教育課所管事業

(1) 教育相談事業

全国的にも不登校の児童生徒数が年々微増している。厳しい事業予算の中で、事業実績で適応指導教室通室者復帰率96.3%とは驚くべき数値で、高く評価される。今後も、学校と適応指導教室指導員とが連携し、保護者の支援や児童生徒の指導を行ってほしい。また、専門的な知識・技術をもつソーシャルワーカーや関係機関と連携を図り、問

題をもつ児童生徒の支援を継続していただきたい。

(2)学校・学級運営支援事業

発達障がい等により、学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターは今や不可欠なものとなっている。適切に配置され、対象児童生徒の学習支援や学級運営の円滑化を図られたことは高く評価される。また、英語教科指導員による小学校教員のスキルアップ、特別支援教育指導員による教員や児童生徒への適切な支援、学校運営支援員を配置しての教員の事務負担軽減を図るなど、学校の教育力向上にも繋がることから、今後もさらなる充実が望まれる。

(3)小学校教育振興事業

○小学校教育振興事業

英語の教科化に対する AET の配置、教育のデジタル化に基づいての授業支援ソフトやデジタルドリル、AI ロボットの活用等教育環境の充実が図られている。世界の中で日本がやや遅れている分野なので、今後も強力に推進していただきたい。地域への誇りや愛着の醸成を図るふるさと教育こそが、これからのグローバルな人材育成に繋がるとも言われている。そのための、体験学習への支援も十分図られている。

○小学校児童健康管理事業

児童の適切な健康管理のために、養護教諭と学校医・学校歯科医や関係機関としっかり連携が図られている。教室の空気、照度や音響、有害物質（アレルゲン）や水道の水質検査等、学校の環境面からの児童の健康管理もしっかり継続していただきたい。

○学校生活ボランティア推進事業

保護者や地域ボランティアの方々のご協力を得ながら、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実が図られている。

○ふれあい交流事業

音楽やスポーツを通じた横の交流、中学校訪問等による縦の交流と多様な交流事業が適切に行われている。

○学力充実推進事業

「確かな学力」を育むことを目的に、定期的に学力調査を実施し、その分析結果を基に、児童の学習改善や教員の授業改善を図っている。これらの地道な取り組みこそが、本市の全国トップの教育力維持に繋がっている。

(4)児童就学援助事業

経済的な理由により就学困難な児童数は年々増加している。迅速かつ適正な審査認定と援助が行われ、保護者の経済的負担軽減が図られていることは大変意義がある。

(5)小学校通学支援事業

近年、交通量の激化等により児童の通学安全確保が困難になっている。とりわけ遠距離通学児童に対して、スクールバスの運行による支援がなされている。また、第2子以降の負担金無償化は多子世帯の経済的負担軽減にもなっており、今後も継続を望む。

(6) 中学校教育振興事業

○ 中学校教育振興事業

ふるさと坂井体験学習事業は小学校でも実施されているが、発達段階を考慮して各中学校の特性に合わせて取り組まれている。高校生との協働や地域での職場体験を通しての交流など、様々な創意工夫が見られる。また、活字離れが進む現代、学校図書館司書を配置し、学習活動や読書活動の充実が図られていることは評価される。

○ 中学校生徒健康管理事業

学校医・学校歯科医や関係機関と養護教諭がしっかりと連携し、生徒一人ひとりの健康保持・増進が充分図られている。

○ クラブ活動推進事業

望ましい人間関係の形成や、よりよい集団づくりに参画しようとする自主的、実践的な態度育成において、クラブ活動の意義は大きい。上位大会出場支援や練習環境の整備など、生徒にとって高いモチベーションになっている。今後も継続してもらいたい。また、外部指導者の配置は生徒の技術力向上や教員の働き方改革にも繋がっている。今後もさらに充実させていただきたい。

(7) 生徒就学援助事業

迅速かつ適正な審査認定と援助が行われ、保護者の経済的負担軽減が図られていると判断できる。

(8) 中学校通学支援事業

通年または期間限定のスクールバス運行により、遠距離通学生徒への支援が図られている。また、第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的支援を行うなど、きめ細かく取り組んでいる。これからも継続してもらいたい。

(9) 学校給食管理事業

適切な衛生管理の下、市内の子ども達に、安全・安心で美味しい学校給食が提供されている。食材の地産地消に務め、毎日の献立表の提示や、正しい食のあり方指導を通して食育の推進もしっかりと図っている。

3. 生涯学習スポーツ課所管事業

(1) 子どもの遊び場整備事業

坂井屋内スポーツセンターを改修し、市独自の全天候型子供の遊び場の整備計画が進められている。心身ともに健やかな子育て支援の意味でも、計画通りの完成が望まれる。

(2) 社会教育事業

○ 社会教育事務事業

社会教育法に基づく社会教育委員会を設置し、定例会議等で社会教育行政全般における調査審議を通して、答申・建議を行っている。また、防災合宿や放課後子ども教室等の視察も行っている。以前行われていた生涯学習講演会の開催など、様々な取り組みで

の社会教育の推進を期待したい。

○社会教育団体補助事業

社会教育団体の育成と活動の促進を目的として、適正に補助金の支援がなされている。一方で、各団体には自己財源の確保等による補助金割合の適正化を促しているが、少子化に伴い、縮小傾向にある各団体の衰退に繋がらないかが懸念される。

(3)市民運動推進事業

明るく、住みたくなるまちづくりを目的として、「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、まちづくり市民運動への意識向上と推進が図られている。また、住みよいまちづくりを目的に、坂井市花壇コンクールが行われている。花壇づくりには一部補助も行われているが、地域の方々の自助努力よるところが多く、活性化のためにもなお一層の支援が望まれる。

(4)国際交流推進事業

国際社会に貢献する豊かでグローバルな人間形成のためにも、児童生徒の国際交流事業はとても有意義である。新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に解除されている中、本年もオンラインによる交流実施であった。出来るだけ早く、安全な直接交流の再開が望まれる。

(5)青少年健全育成事業

○子ども会育成事業

チャレンジランキングやディスクドッジ大会、壁新聞コンクールなどを開催し、子ども会活動の支援が図られている。子ども会活動は地元とのつながりを深め、青少年リーダー育成のためにも意義のある事業である。

○はたちのつどい事業

20歳となったことを祝い、大人としての責任と自覚をもってもらうためにも必要な事業である。また、ふるさと坂井市への想いや地元での活躍、地域貢献への意識醸成にも繋がる。新成人の実行委員を中心に企画運営され、出席率77.2%は評価できる。

○わんぱく少年団事業

大雪により中止となった活動もあったが、「2023SAKAI わんぱく少年団」として展開された計6回の体験活動は、とても貴重な経験になったと思われる。参加者がもっと増えることを期待したい。寄附市民参画制度を活用したわんぱく王国事業では、多くの児童が参加しやすいように、22種もの様々な体験プログラムが準備されている。自然の中での多種多様な活動は、児童の心身共に健全な育成に寄与しており、高く評価できる。

○青少年育成坂井市民会議事業

中学生対象の「赤ちゃん抱っこ体験学習」や「いきいき見守り隊」のボランティア活動等は、健全な青少年育成や安全・安心なまちづくりに大きく貢献しており、感謝したい。

○放課後子ども教室推進事業

各コミュニティセンターを会場として、児童を対象に放課後や休日に、多様で有意義な学習・体験の機会が提供されている。子ども達の安全・安心な居場所づくりや学べる多様な機会の提供になっており、高く評価される。

○合宿通学事業

市内の4小学校で「防災合宿」をテーマに、避難場所である各校の体育館で一泊の合宿が行われている。様々な団体の協力のもと、防災学習や非常食調理体験など実践につながる内容がカリキュラム化されており高く評価される。災害が多い今日、このプログラムは多くの子ども達が体験し、防災について関心を持ってもらいたい。

○坂井・延岡ジュニア交流事業

丸岡藩主有馬公ゆかりの姉妹都市である、延岡市の児童と交流会が実施された。交流会を通して、互いの郷土の歴史や自然を尊重する心の育成が図られた。子ども達にとって、ここで得た貴重な経験は、これからの成長の糧となるであろう。今後も継続していただきたい。

(6)心の家庭教育支援事業

核家族化が進む現在、家庭教育に悩む保護者が増加している。その対策として、各地区で家庭教育支援チームを結成し、子ども相談室や保護者相談会、子育て講演会を開き、家庭教育の支援が行われている。また、子育てに関する様々な情報やアドバイス等を掲載した広報紙「ほやほや」を年4回発行する等、家庭教育力向上の一助になっており、今後益々必要とされる事業である。

(7)愛護センター事業

少年非行の未然防止のために、各自治区懇談会や合同巡回街頭補導は、とても大切である。青少年健全育成に寄与する部分が大きく、今後も関係機関と連携した補導體制の充実を図っていただきたい。

(8)スポーツ推進委員運営事業

マリン体操やニュースポーツ指導の実施、各種スポーツ大会の協力等を通して、市のスポーツ活動の推進が図られている。また、ディスクドッジ大会に向けた講習会や各スポーツ大会の支援など市民全体のスポーツ振興と健康づくりに大いに貢献している。

(9)部活動地域移行事業

学校教育の一環として部活動の意義はとても大きい。一方で、少子化や教員の働き方改革の影響など様々な議論がなされている。令和4年策定の国のガイドラインに基づき、市では休日の部活動の段階的な地域移行に向け、地域スポーツ推進委員会を設立し、令和8年度からの完全移行へと始動した。何よりも主役である子ども達にとって、より良い部活動環境が整うことを期待したい。

(10)スポーツ振興事業

○スポーツ大会運営事業

古城マラソン大会や市民スポーツ祭の開催、様々なスポーツ大会の補助を通して、市

民が気軽に参加できる場の提供及び生涯スポーツの推進に寄与している。

○ワールドマスターズゲームズ支援事業

世界10カ国からの参加のもと、ワールドマスターズゲームズのオープン競技として、「ジャパンオープンディスクゴルフ大会2023」を本市で開催した。選手以外にも多くの客を迎え、盛大な交流や市のPRになった。

○スポーツ振興事業

激励金支給者数が、一昨年、昨年、本年度と増加している。市民の競技スポーツ・生涯スポーツの推進やスポーツによる青少年の健全育成に対する支援が十分に図られた成果と思われる。

(11) 体育施設管理事業

各体育施設の修繕・改修など維持管理が適切に行われている。また、利用者のニーズに合わせた備品の整備や利用者の満足度向上に真摯に務めている。

4. 文化課所管事業

(1) 文化振興事業

○文化振興事業

昨年度を大きく上回った全国大会出場者への激励金支給や文化未来会議視察研修の補助など、適正に執行されている。市内小中学校を対象としたスクールコンサートや子ども文化体験教室を開催し、音楽や伝統文化への関心を高めた。文化芸術は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにする。豊かな人間性や創造性は勿論、感性を育てる。また、他者に共感する心を通して、他人を尊重し、考えを異にする人々と共に生きる資質を育む。この様な事業が増えていくことを期待する。

○文化団体補助事業

地域の伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的として活躍する諸団体への支援補助金が、適切に交付されている。これからも、質の高い文化の振興を切望する。

○文化活動支援事業

市内4地区の会場で開催される市民文化祭業務委託料、坂井市文化振興事業団への公演委託料と市民文化創造企画支援事業委託料、いずれも適切に執行されているものと思われる。市民文化祭はどの会場も盛況であった。優れた文化芸術を鑑賞したり、参加したりすることで、市民の文化芸術水準の向上や活性化が図られている。

○一筆啓上手紙の館管理運営事業

施設の館管理運営が適切になされ、手紙の館入館者数も丸岡城との共通入場券入館者数も大きく増加した。今後も丸岡城と連携し、文化と観光の発信拠点として充実を図ってほしい。

(2) 文化施設管理運営事業（文化の森・みくに市民センター管理運営事業）

文化芸術活動の拠点として、ハートピア春江及びみくに市民センターの両施設は適正

に維持管理が行われている。両館の特性を活かし、市民の文化芸術活動の拠点として、魅力ある取り組みを続けてもらいたい。

(3)文化財保護審議会運営事業

文化財は、地域の歴史や文化を物語る遺産であり、後生へ大切に引き継いでいかれなければならない。坂井市に於いても、文化庁の認定を受けた坂井市文化財保存活用地域計画に基づき、保存および活用についての保護審査が適正に行われている。

(4)文化財保存事業

○文化財保存管理事業

旧安島幼保園の文化財保管施設として活用、出世山古墳公園の緑地維持等も含め、市内文化財の維持管理や継承を適切に行っている。今後も、坂井市域の文化財の保存・管理や公開・活用を通し、市民への郷土歴史や文化の振興に努めていただきたい。

○埋蔵文化財発掘調査事業

埋蔵文化財の調査や保護は都市開発事業との関係で難しいが、本年度も178件の工事の申請があり、そのうち29件について試掘調査、工事立会が行われた。六呂瀬山古墳群調査整備については、これまでの調査結果をまとめた報告書が令和6年度に完成予定である。また、龍翔博物館は埋蔵文化財の展示やリーフレットでの情報発信など、市内外への周知も適正に行われている。

○丸岡城関連施設管理運営事業

丸岡文化財団に指定管理者として委託し、丸岡城周辺の一体的な管理運営が適正に行われている。また、歴史的価値の広報や観光情報の発信にも努め、昨年度を上回る見学者が丸岡城へ訪れた。今後も、歴史民俗資料館や手紙の館などの文化施設と連携し、文化・観光の両面での充実を図ってほしい。

○文化財保存活用事業

「おたから」調査、各地区開催のまち歩きやおたからマップづくりが行われ、市内の多様な文化財がリストアップされた。文化庁の認定を受けた坂井市文化財保存活用地域計画に基づき、そこで発見された文化財の保存、継承、周知、活用が適正になされている。

(5)丸岡城周辺整備基金

丸岡城周辺の整備および丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金が適正に設置運営されている。

5.丸岡城国宝化推進室所管事業

(1)文化財保存事業（丸岡城国宝化推進事業）

丸岡城天守と城下町の研究や教育に活用するため、江戸時代の2点「丸岡城の絵図」「越前国丸岡城図」の調査研究が進められ、8月には高椋コミュニティセンターで調査内容報告会が実施された。また、その復元地図を作成し、アプリ運用も可能にした。毎

年の丸岡城に関する調査研究の取り組みが、市民の悲願である「丸岡城の国宝化」に繋がることを期待する。

6. 龍翔博物館所管事業

(1) 文化施設管理運営事業

○ONO メモリアル管理運営事業

坂井市出身のアートディレクター戸田正寿氏による企画展「エッシャー←手紙→戸田正寿展」や演劇ワークショップ「いま、ここを切りとる」を開催し、市民の現代美術に関する興味関心を高めた。ONO メモリアル入館者数もほぼ倍増し、市民の美術文化の創造に寄与した。

○龍翔博物館管理運営事業

2年半の改修整備を終え、6月3日にリニューアルオープンした。展示内容も一新され、市全域を対象にした歴史や文化が分かりやすく紹介されている。サポーターズクラブ「りゅうちい's」を結成し、各種イベントや特別展・企画展・ミニ企画展が開催されている。初年度から多くの入館者数を記録し、教育、学術および文化の発展に寄与するものと期待される。

7. 図書館所管事業

(1) 図書館管理運営事業

○図書館管理運営事業

市民への読書普及や情報サービス提供を目指して、市内4つの図書館が適正に運営されている。三国図書館が3月に改修工事を終えて再開し、市全体の来館者数、貸出人数、貸出冊数ともに例年並みに戻った。また、子ども達のために開催されている原画展やおはなし会においては、いずれも参加者数が大幅に増加し、子どもの読書活動推進に貢献した。

○図書振興整備基金事業

図書館振興整備基金を活用し、図書館の施設の整備および機能の充実が適切に図られている。また、多くの来場者のもと、「古谷綱武・吉沢久子文庫」の記念講演会を開催し、顕彰に努めた。

(2) 記念文庫等管理運営事業

郷土ゆかりの中野重治、小葉田淳両氏の文学遺産を継承し、その業績を収めている記念文庫の価値は高い。丸岡町ゆかりの作曲家「今川節の部屋」も貴重な資料が展示されている。これらは市民の宝であり、今後とも適切な維持管理を行ってほしい。

(3) 図書振興整備基金

坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図るため、坂井市図書振興整備基金が適切に運用されている。

坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書に関する確認結果等について

坂井市 PTA 連合会
会長 志尾 祐樹

◆総評

令和 5 年度の坂井市教育委員会の活動、および事業別施策に関して、各活動・事業とも坂井市民の教育向上、生活向上に繋がっていると高く評価いたします。

なお、確認・審査結果等は以下のとおりです。

1. 令和 5 年度 坂井市教育委員会の活動状況

- 教育委員会及び教育委員会委員は、適切な人員・人数で構成されていると評価します。
- 委員会会議の開催状況は、定例及び臨時委員会を年間 14 回、39 件の附議事項を審議し、坂井市教育行政の運用の為に必要な内容であり、適切な委員会開催状況であると評価します。
- 教育長・教育委員会委員の活動状況は多くの教育関係行事（各種式典・会議・イベント）に各委員が積極的に出席していることを高く評価します。
- 指導主事学校訪問においては、市内のすべての小中学校を 1～2 回程度訪問し、各学校の様子を視察するなど適切な指導を行っている、と高く評価します。
- 委員会、審議会の審議状況については、多様な内容について協議を行っており、適切な会議の運営であると高く評価します。
- 教育委員会関係の許認可の状況について、文化財の指定状況を確認しました。今後も各文化財の適正な維持管理を行っていただき、市内文化財のさらなる充実を期待します。

2. 令和 5 年度 事業別施策の成果報告について

【教育総務課関係】

教育委員会運営事業や教育委員会事務局事業、小学校管理事業など、多岐にわたる教育支援活動を行い、予算の適正な運用と成果を上げています。特に、教育委員会および総合教育会議の開催や、学校施設の維持管理・改修工事を通じた教育環境の整備が評価されます。今後も、地域全体で子どもたちを支える環境を整え、教育の質を向上させる取り組みを続けていくことが期待されます。

【学校教育課関係】

教育相談事業や学校・学級運営支援事業、特別支援教育、不登校対策など、多岐にわたる教育支援活動を行い、予算の適正な運用と成果を上げています。特に、教育相談件数の増加や適応指導教室通室者の高い復帰率、学級サポーターや特別支援教育指導員の配置による支援体制の強化が評価されます。今後も、地域全体で子どもたちを支える環境を整え、教育の質を向上させる取り組みを続けていくことが期待されます。

【給食センター関係】

学校給食管理事業を通じて、児童生徒の健康増進と体位向上に寄与しています。特に、地元産の食材を積極的に取り入れた地産地消の推進や、給食費の半額継続による保護者の経済的負担軽減が評価されます。また、食育の取り組みを通じて、児童生徒に正しい食事のあり方や望ましい食習慣を指導することに成功しています。今後も、地域全体で子どもたちを支える環境を整え、教育の質を向上させる取り組みを続けていくことが期待されます。

【生涯学習スポーツ課関係】

社会教育団体補助事業、市民運動推進事業、国際交流推進事業、青少年健全育成事業など、多岐にわたる事業を通じて、地域社会の活力向上や市民の交流、青少年の健全育成に寄与しています。特に、補助金の適正な運用と成果の向上が評価されます。今後も、地域全体で子どもたちを支える環境を整え、教育の質を向上させる取り組みを続けていくことが期待されます。

【文化関係】

文化団体補助事業や文化活動支援事業、文化施設管理運営事業を通じて、地域の文化振興に大いに貢献しています。特に、地域の伝統文化の継承と文化活動の振興を図る取り組みが評価されます。今後も、市民の文化活動への積極的な参加を推進し、地域全体で文化の質を向上させる取り組みを続けていくことが期待されます。

【図書館関係】

坂井市の図書館事業は、地域社会に大きく貢献しており、特に利用者数の増加や子どもの読書活動推進が顕著な成果として評価されます。施設の整備と安全性の向上も、利用者にとって重要なポイントです。一方で、システム更新による長期休館については、今後は計画的な更新が必要です。利用者への影響を最小限に抑えるための対策が求められます。また予算の効率的な使用については、予算の流用や予備費の充用が見られるため、予算の効率的な使用と透明性の確保が求められます。今後も、地域全体で図書館事業を支え、さらなる発展を目指すことが期待されます。